

東北地方・縄文晩期の土偶（7）

－青森県^{そとめやち}五月女^{かわらたい}菰、川原平（1）遺跡ほか、その後の多出報告遺跡－

金子 昭彦

東北地方・縄文時代晩期土偶のデータ・ベース化の一環として、今回は、(6)脱稿後管見にした二十点以上報告遺跡を取り上げた。青森県五月女菰、川原平(1)遺跡では二百点以上報告されている。川原平(1)遺跡は、遺跡範囲を全掘した貴重な例であり、後期末～晩期初頭の全体に分かる資料に恵まれ、漆付着土偶もある。そのほか、岩手県千菊（隣接する中村遺跡含む）、杉の堂遺跡、宮城県北小松遺跡報告土偶を表にした。

1. はじめに

前稿(6)(金子 2016a)脱稿後、青森県五所川原市五月女菰遺跡、同 西目屋村川原平(1)遺跡の報告書が刊行された。青森県で200点以上土偶を出土する晩期の遺跡が、これまで八戸市是川中居遺跡しかなかったのが、一気に二遺跡増えることになったのである。立地も含め、これまでの印象の変更を求める遺跡であることは間違いない。また、川原平(1)遺跡では、これまで類例の少なかった後期末の全体の分かる資料に恵まれ、さらに、遺跡を全掘した調査例としても貴重である。表にして資料化することが急がれた理由である。ついでに、その他の(6)脱稿後に報告された資料や遺漏分も含めて悉皆的に収集資料化するつもりだったが、今回筆者が担当する岩手県立博物館のテーマ展の準備期間に完全に重なってしまい、さらに12月に開催された（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターの埋蔵文化財発掘調査技術講習会の講師を引き受け、とてもそこまで手が回らなくなり、本稿(6)脱稿後に管見にした、20点以上土偶が報告された遺跡しか扱えなかった。なお、図の出典は、カッコ内の表番号をもとに表の掲載箇所を参照願いたい。

2. 表の見方

記載要綱は、(1)～(6)と同じである。大綱は(1)冒頭に記し、(2)～(6)冒頭で補足している。なお、資料は、明らかに当該期から外れる場合は表から除外した。

形態名は、原則として金子(2003)による。部位は、完全に残っていれば◎、欠けているが半分まで残っていれば○、それ以下ならば△で示した。接合欄の記号。△は、詳細は不明だが、接合していると思われるもの。○は、すぐそばの破片が接合したのではなく、廃棄後に割れたとは考えられないもの。◎は、それが3片以上接合したもの。●は、接合によって完形に近く復元されたもの。★は、遠距離（20m以上）接合。■は、以上が複合した特筆すべき接合で、詳細は備考欄に記した。

付着物の欄。表面に塗布する赤色付着物は、痕跡的なもの（不明含む）を○、多いものを◎、全面塗布のものを●とした。漆もこの欄に記した。黒色付着物は、塗布箇所が割口か否かに注意した。

“女性”とは“女性的特徴の有無”の意である。ここでは、遮光器土偶など、類例が多くよく知られている類型については、女性器の有無だけ記し（有る場合、▼と記す）、類例がほとんどないものに対してだけ、上記の特徴が認められる場合、全て記したいと思うが、縄文土偶は乳房を持つのが普通なので、特に大きいものだけ記す。乳、線（正中線の意）等と略記し、複数認められる場合は◎、三つ以上の場合は●と記し、備考欄に内容を略記する。なお、腰部に見られるパンツ状区画は、裸体表現（屈折像土偶など）や大きな乳房を持つ土偶（前葉の大型遮光器土偶など）に伴う場合がほとんどで、何らかの“女性的特徴”を表現している可能性が高いので、検討の対象に含めた（ある場合

“バ”と記す)。

掲載箇所欄で文献名を引用する際、発行機関・発行年(西暦)で示しているが、発行年は下二桁のみを記し、発行機関は、次のように略称している。〇〇県の教育委員会→県教、〇〇県の埋蔵文化財センター→県埋、〇〇市町村の教育委員会→〇〇(市町村名)、市町村名が長い場合は最初の二文字。

備考欄で類例を引用した際の数字は、本稿(1)～(6)の表番号(通して付けている)である。

3. 青森県五月女苑、川原平(1)遺跡ほか、その後の多出報告遺跡

(1)青森県五所川原市五月女苑遺跡

・五月女苑遺跡内容確認調査(第13表4583)(五所川原市教育委員会 2006)

下記の調査の前に内容確認調査が二度行われ(下記報告書第1分冊:p.3)、二度目の調査報告書(五所川原市教育委員会 2006)が岩手県立博物館にあり見ることができた。土器、石器以外では、x字形土偶1点、土製勾玉(両端刻目長形)1点、有孔土製品、動物遺存体などが出土し、縄文土器の出土時期は、下記と変わらないようである。

・五月女苑遺跡(第13表4584～4781)(五所川原市教育委員会 2017)

市名と報告書の図版番号が長いため、表の掲載箇所欄は略記せざるを得ず、書名(五所川原市教育委員会 2017)は割愛し、図〇・・・の「図」は省略して、その後の数字のみ記した。

「遺物集中区」と呼ばれた捨て場は、六地点に分かれて確認されたため、「第1～6遺物集中区」と分け(第2、3、6遺物集中区はさらに東西に細分)出土品も別々に報告されている。本稿でも、「出土位置」欄に略記した。地点差を期待してのことであるが、大きな違いはなかったようである。ただし、大洞A1式土器の掲載が多い第4遺物集中区には、確かに大洞A1式期の土偶が多いように見える。

図Ⅲ-2-4-14の27は、文様から後期中葉と判断して割愛した。図Ⅲ-2-1-191の10(註1)、図Ⅲ-2-2-2の14(註2)は、後期後葉と判断して割愛した。図Ⅲ-2-4-17の61、62の破片は、当該期の土偶と判断しにくいので割愛した。図Ⅲ-3-1-65の1は、中期土偶の可能性が高いので割愛した。図Ⅲ-3-1-65の5、6は、後期後葉(瘤付土器第Ⅰ段階?)と思われるので割愛した。図Ⅲ-3-1-65の2～4は、小片でかつ後期の可能性が高いので割愛することにした。図Ⅲ-3-2-35の2は、後期中～後葉の可能性が高いので割愛した。図Ⅲ-3-3-10の12は、当該期とする根拠がないので割愛した。図Ⅲ-3-4-38の3は、土偶ではないと思われるので割愛した(土器の一部か装身具)。図Ⅲ-3-5-8の10、11は、後期後葉以前と思われるので割愛した。図Ⅲ-3-6-34の1は、当該期の土偶とする根拠が全くないので割愛した。図Ⅲ-4-1～の5、11、43、53、61～65、100も同様である。図Ⅲ-4-4-1～の12、14、18、47、51、54、96、118、119、127、133、139は、後期後葉と思われるので割愛した。図Ⅲ-4-4-1～の34、35、131、134、135は、後期後葉の腕と判断して割愛した。図Ⅲ-4-4-4の70は、袋状土器なので割愛した。

土偶は322点出土したそうだが、掲載は240点に留まっている(報告書第2分冊:p.420)。掲載品で判断する限り、土偶は、概ね下記出土土器の傾向に比例しているようである。大型遮光器系列土偶やx字形土偶、結髪土偶も存在するが、優品は少なく、独特のものも多い(第1図5)。第1図10の脚の屈曲の極めて弱い屈折像土偶は、北海道系であろう。第1図1は、出土状況と文様から大洞B2式期と判断される(報告書第2分冊:p.422)大型遮光器系列でない土偶である。大洞A1式期の肩パット土偶も出土している(第13表4761)。

北海道系と言えば、x字形土偶のように抽象的ではあるが、胴長で、より人に近いプロポーションを持つ類(x字形×小遮)も目立ち、下北半島ではあるが、同じく北海道に近い二枚橋(2)遺跡と共通

する（本稿(5)）。首に刻目隆帯のめぐる土偶が見られ（第1図14）、宇鉄遺跡出土の肩パット土偶に共通し（本稿(5)第7表3305）、これは津軽半島北部の地域性なのかもしれない。

頭頂部が突起状に突出する特徴的な黥面土偶があり（第13表4619、4633）、類例が鶴田町船沢から出土している（本稿(2)=第2表1216）。そちらでは「刺突文？」と位置づけてしまったが、いずれにしる頭部のみで全容は不明である。

本遺跡は、土砂採取に伴って8,200㎡調査され、その後保存目的のため1,790㎡確認調査された。縄文時代後期後葉～晩期後葉の集落跡が主として発見され、墓地（人骨7体出土）と捨て場等が検出されている。石製玉の製作ほか、ベンガラ生産や漆器製作も行われている。黄褐色粘土のマウンドを持つ墓等の成果により保存されることとなった。奈良時代の竪穴住居跡1棟、平安時代の畠跡も検出され、弥生時代中期後葉、古墳時代初頭（後北C2-D式）の土器片、中世の陶磁器片も出土している。

縄文土器は、僅かな中期前葉のほか、後期中葉（十腰内Ⅱ～Ⅲ式）、後期後葉（瘤付土器第Ⅱ段階）～晩期後葉（大洞A1式）が出土し、大洞C2式が最も多く、次いでその前後で、晩期初頭以前は比較的少ないが瘤付土器第Ⅱ段階は比較的多い。位置的に北海道系土器も各時期存在する。

土偶関連遺物は、土面16点（「浅鉢」とされた1点も追加）、人面付土器3点、人面形突起1点、岩偶2点？、岩版2点？、土版3点、動物形突起2点、動物形土製品1点出土し、大洞C2～A1式期と後期後葉～末に偏っている。晩期前葉は、土器の出土は多いのに岩版に代表される関連遺物は少ない。

石剣類は129点出土したそうだが、石棒・石刀が多く、いわゆる石剣は少ないそうである（報告書第2分冊：p.313）。石冠9点、土冠2点出土した。内面渦状土製品が3点出土し、全て碗形で晩期前半の可能性が高い（金子 2011b）。

土製耳飾は58点出土し、掲載品を見る限り、土器、土偶、土面の出土が多い大洞C2～A1式期でほとんどを占めるはずのC2ネジ形（金子 2009a）が非常に少ない。大型のクラゲ状や鼓状、蓋状に代表される極小の片端大系列が多く、土製耳飾に関しては晩期前半が主体を占めていると考える（金子 2009a）。弧状土製品は2点出土し、報告書第2分冊図Ⅲ-3-2-33の1は第二段階（大洞BC1～2式期）、同図Ⅲ-4-3-8の97は第四段階（大洞C2式前半期）か（金子 2009b）。菱形環状土製品は2点出土し（報告書第2分冊図Ⅲ-4-3-10の118、121）、両方とも第Ⅰa段階か（金子 2010c）。ボタン状石製品1点（報告書第2分冊図Ⅲ-3-1-62の17）は、第Ⅲb段階で大洞C2式古期か（金子 2010b）。その他、玉象嵌土製品、菱形環状土製品類似品（報告書第2分冊図Ⅲ-4-3-10の120）や鏢形土製品類似品（報告書第2分冊図Ⅲ-4-3-10の111～113）（金子 2011b）、環状や貫通孔を持ち装身具と考えられる出土品が多数ある。

玉類の出土も多く、土製玉類は385点出土し（丸玉187、管玉62、勾玉51）（報告書第2分冊：p.326）、大洞C2～A1式期に特徴的な瓢箪小玉（金子 2006）も51点掲載されている。同じ頃の可能性が高い両端刻目長形土製勾玉（金子 2016c：p.238）も20点ほど掲載され、二点掲載されている三角玉（報告書第2分冊図Ⅲ-4-6-5の84、85）は、弧型で大洞C1～2式古期か（金子 2011b）。その他の類型も含め土製玉類が多いこと自体が、大洞C2～A1式期の出土品が多いことを示唆する可能性が高い。石製玉類は784点出土しており（丸玉759、管玉21、勾玉4）（報告書第2分冊：p.332）、未成品を加えると6,392点に及び、遺跡内で緑色凝灰岩製丸玉を中心に製作が行われていたが、ヒスイ製品も多い（100点以上）（報告書第2分冊：p.540）。

その他、漆櫛1点、サメ歯（アオザメ）8点、貝輪や骨角製装身具などが出土している。集落は、大洞A1式期の出土遺物が比較的多いのにも関わらず、ここで突然途絶しており、「大洞A」

式の良好な遺物包含層が検出された内陸部にある岩井・大沼遺跡（本稿(2)第5表601－引用者註）へ集落が移動した可能性」（報告書第1分冊：p.2）は十分首肯できる。

・五月女遺跡5次調査（第13表4782～4787）（五所川原市教育委員会 2021）

本書も、図番号が長いので、掲載欄の書名は発行年のみとし「21」と略記した。

土砂採取事業に伴って約756㎡調査され、調査範囲は上述の調査区の東側に直交する方向に延びるが、調査区は飛び飛びに三地点に分かれる。

表4782～4784は、そのうちの1区（126㎡）から出土した。1区からは、縄文時代晩期後葉を中心にした集落跡が検出され、掲載土器は、大洞A1式（津軽系）を主体とし、後期中葉、晩期前葉、大洞A2～A⁺式古期土器も見られる。報告書図Ⅲ-2-13の2、3は、後期後葉土偶の脚と思われるので割愛した。

4785～4787は、3区（457㎡）から出土した。3区からは、縄文時代後期後葉～晩期（中葉の墓）、古代の集落跡が検出された。掲載土器は、やはり大洞A1式（津軽系）が多いが、後期中葉、後期後葉から晩期後葉（大洞A2式）まで多時期に亘る。報告書図Ⅲ-2-64の4、5は、後期後葉土偶の腕、脚と思われるので、6は土偶とする根拠が弱いので割愛した。

(2)青森県西目屋村川原平(1)遺跡

津軽ダムの建設に伴って、後期末～晩期の拠点集落跡15,790㎡が全面調査された。後期末～晩期前葉の人面付土器が特徴的である。なお、試掘調査で出土した土偶は、本稿(6)で取り上げている。

・川原平(1)遺跡遺跡南端（第13表4788～4817）（青森県教育委員会 2016a）

遺跡南端に相当するC区の平成23、25年度（一部）調査区の報告で、捨て場を主体とするが、土器埋設遺構や石棺墓なども検出された。僅かに、縄文時代前期末、中期後葉、後期前葉（十腰内Ⅰ式）、後葉（十腰内Ⅳ式）、弥生土器？、土師器も出土しているが、ほとんどが縄文時代後期末（瘤付土器第Ⅲ段階）～晩期後葉（大洞A1式）の土器である。後期末～大洞B1式が多数を占め、次いで大洞C1式で、それ以外の時期は少なく、特に大洞BC2式がほとんどないことは特筆すべき点である。こうした消長は、一般的な晩期の拠点集落と逆で（金子 2017：p.330）、山間にあるという立地の特殊性に起因するものであろうか。

土偶は39点掲載され、時期は出土土器の傾向にほぼ合致する。人面付土器が多く、6点以上出土している。なお、表の人面付土器の残存率は、土器全体のものである。岩版約6点（以上）、石剣類約43点、円盤状石製品64点掲載されている。出土時期の傾向から、やはり土製耳飾の出土は多く、34点掲載され、無文環状のものが多く、報告書遺物図191-10は、ネジ前系列である（金子 2010d：p.135、2009a）。報告書遺物図204-5は、石製耳飾（耳栓）であろう。土製花卉丸玉は5点掲載され、やはりⅡa～b段階がほとんどだが（瘤付土器第Ⅲ～Ⅳ段階）遺物図195-9は、第Ⅲ段階（大洞B2～C1式期）の可能性がある（金子 2011c）。第三段階（大洞C1式期）の弧状土製品（金子 2009b）1点、イモガイ殻頂部様の装身具1点掲載され、その他、赤色小型土製玉が8点（勾玉2、丸玉6）、小型石製丸玉類7点（ヒスイ2点）、その他の石製装身具類数点、木製櫛3点などが掲載され、コハクの出土が報告されている。

遺物図版184の5、6は、「土偶の部品」とされているが、実感が持てなかったので割愛した。遺物図版188の1、4、6、7、8、9～11も同様で、当該期の土偶の部位という確証が持てなかったので割愛した。第13表4801～4805の「一部は図184-1（本表4800）と同一個体と思われる」とされている（報告書：p.159）。

・川原平(1)遺跡北西隅（平成25年度調査区）（第13表4818～4823）（青森県教育委員会 2016b）

平成25年度調査区（遺跡のある台地の北西隅）の報告で、縄文時代中期後半の集落跡のほか、当該期では、後期末～晩期前半の墓域、晩期後半の盛土遺構が検出されている。これまでと同様、縄文時代後期末（瘤付土器第Ⅲ段階）～晩期後葉（大洞A1式）の土器が掲載されているが、大洞A1式が最も多く、後期末～晩期初頭、大洞C1式は少なく、大洞BC2式、C2式は比較的多いといえようか。聖山式が出土している。出土量も比較的小さいせいか、土・石製品の出土も少ない。

6点出土した土偶は、3点以上が大洞A1式期であり、表4823は、「刺突文土偶」とされているが結髪土偶である。大洞BC2式期の大型遮光器土偶の破片が点在して出土している。岩版1点（大洞A1式期）、正中線中空土版1点（瘤付土器第Ⅳ段階）、石剣類10点、円盤状石製品53点が出土した。土製花卉丸玉1点は、第Ⅲ段階か（金子 2011c）。石製玉は、配石土坑墓を中心に37点、土製丸玉が1点出土している。

図129の3は、土偶に見えないので（瘤付土器の破片？）割愛した。

・川原平(1)遺跡平場地区・クラック地区（第13表4824～4832）（青森県教育委員会 2017a）

平成25～27年度調査区のうち遺跡の中央に相当する平場地区・クラック地区の報告である（4,258 m²）。平場地区では、後期末～晩期後葉の建物跡や盛土遺構が検出された。クラック地区は、平場地区の北側に隣接し、溝状の落ち込み部分に後期後葉～晩期前葉の捨て場が形成されている。一連の報告は、出土地点・層位別に遺物を掲載し、原典である報告書としては一つの見識だとは思いますが、読みづらく探しづらいことは否めない。特に本書の場合は、遺物の種類ごとのまとめがないため、例えば円盤状石製品が何点出土したかわからないのである（表から数え上げるしかない）。異種類の遺物のセット関係が見通せていない現状では、たとえ良好な層位的出土資料であっても、まず遺物の種類ごと（土器、土製品など）に分けてから地点・層位別に並べた方が利用しやすいと考える。

掲載土器は、これまで同様後期末～晩期後葉だが、後期後葉まで遡りそうな瘤が多く貼付される土器が見える（報告書：図211の写真図版147-13）。ただし、報告書の図や写真では文様が良く見えず、中門亮太氏の編年では、5期相当資料に瘤が比較的多用される資料も含まれており、若干の懸念も残る（中門 2013：第15図1）。平場地区は、小片が主体のため不明瞭だが、大洞A1式がほとんどで、後期末～晩期初頭も非常に少ない。これに対し、クラック地区は、後期末～晩期初頭がほとんどを占め、大洞B2式も見られるが、それ以外は非常に少なく、中期後半土器も僅かに出土している。

土偶は、8点掲載され、出土土器と同じく、後期末と晩期後葉が主体を占める。報告書図157-2は、天地逆に掲載されているが、結髪土偶の胴部であろう。人面付土器は約5点、岩版は7点以上で晩期後葉が主体を占める。以下、数え間違いがあると思われるので不正確だが、石剣類約15点、円盤状石製品約174点、独鈷石3点（「青竜刀形石器」とされる写真105-7含む）、図147-1は、石冠であろうか。これを含めて石冠は2点か（図146-3）。クラック地点では、時期によるものか、土製耳飾が9点出土し、石製丸玉も2点掲載されている。

・川原平(1)遺跡東捨て場・北東捨て場（第13表4833～4869）（青森県教育委員会 2017b）

遺跡の東端に存在する、東捨て場、北東捨て場地区の報告である。報告書の写真が暗くて文様等を確認できないのが残念である。なお、写真のみ掲載の資料は、本稿の方針により割愛している。図97-13は、土偶ではなく弧状土製品（金子 2009b）なので割愛した。

掲載土器は比較的小さいが、これまでと同様、縄文時代後期末（瘤付土器第Ⅲ段階）～晩期後葉（大洞A1式）の土器が見られ、大洞C1式、次いで後期末～晩期初頭が比較的多い。本報告書も出土点数が記されておらず、また写真掲載が基本のため、以下数え間違いが多いと思われる。41点？掲載された土偶は、土器の傾向をある程度は反映しているが、大洞C2式期が意外に多いようである。

人面付土器2点以上、岩版20点以上（礫石器と区別しがたいものがある）、石剣類27点、円盤状石製品多数（数百点）掲載されている。その他、約7点掲載された土製耳飾は、後期末～晩期初頭が主体だが、晩期中～後葉の蓋状系列（金子 2009a）も出土している（報告書：図98-15）。その他、「ケムシ形土製品」とされた第三段階？の弧状土製品（金子 2009b）の欠損品が1点（報告書：図97-13）、第Ⅲ段階（大洞B2～C 1 式期）（金子 2011c）の土製花卉丸玉1点（報告書：図97-8）、土製勾玉？1点、石製勾玉2点、第Ⅲ a 段階（大洞C 1 式期）？のボタン状石製品1点（報告書：図49-12）などが掲載され、漆塗櫛などが出土している。

以下、上記点数に含めなかった関連遺物。図28の写36-3の突起は、片面人面、片面獣面とあるが、理解できないので割愛した。写129-8の動物突起は、図がなく詳細不明で、また晩期ではないので割愛することにした。図34-39は土版とされているが、理解できないので割愛した。写62-4の岩版は、比較的残りの良い正中線を持つ3類のようである（赤色付着物）。報告書で「線刻礫」とされたものの多くは、線刻というより擦痕であり砥石などと考えられ、割愛した。

・川原平(1)遺跡北捨て場（第13表4870～4908）（青森県教育委員会 2017c）

遺跡北端にある北捨て場地区の報告である。掲載土器は、これまでとほぼ同じで、僅かな中期後葉があり、大洞BC2式が少なく、大洞C 2 式も少ないが、それ以外の後期末～晩期後葉は、ほぼ同じくらい出土している印象を受ける（報告書：p.34）。今回は、明確に後期後葉土器が出土している（報告書：写真108-12）。「土偶は36点が出土した」とあるが（報告書：p.51）、それ以上掲載されている。掲載土器の傾向を概ね反映している。岩版は4点以上出土している。石剣類は約38点、石冠1点、土冠1点（施文されているが、不鮮明で時期不明）掲載されている。11点出土した土製耳飾は、やはり後期末～晩期前葉が主体だが、それ以降のものも出土している（報告書：図27-45、47、50）（金子 2009a）。報告書図27-58の土製装身具は、おそらく猪牙製の組み合わせ型腕輪（金子 2016c：第3図10、11）を模倣したものと推測され、興味深い。その他、スプーン状土製品1点、円盤状石製品600点以上出土しているようである。なお、完形および接合による完形に復された石剣類について紹介されている（報告書：p.116）。

・川原平(1)遺跡西捨て場（第13表4909～5071）（青森県教育委員会 2017d）

遺跡の西端に位置する西捨て場の報告である。段丘崖に位置し、下部は湧水を伴い、有機質遺物も多量に出土し、そのせいか赤色顔料の残存も良いようである。掲載土器は、これまでと同様、僅かな中期（報告書：p.237）、後期後葉のほかは、後期末～晩期後葉だが、大洞B2～C 1 式が多く、大洞A1式は少ない。

川原平(1)遺跡の場合は、土器の出土傾向から、五月女范遺跡と異なり、掲載資料は、明らかに該当しない資料以外、できるだけ割愛しない方針だが、図80の49は、色調も当該期の土偶と異なり赤褐色で土偶にも見えないため、割愛した。図93の210、図95の234も、観察表では土偶に分類されているが、とても土偶とは思えないので割愛した。

157点出土した土偶（「亀形土偶」除く）は、土器の出土傾向を反映し、遮光器土偶が多い。第5図6と7は、非常によく似ている。背中の文様は異なるが、正面の装飾が酷似していることから時期が異なるとは考えにくい。出土例の少ない大洞C1式新时期以降の小型遮光器土偶である。

土面1点、人面土器1点、正中線中空土版1点？、美々4型中空動物形土製品1点？ 33点以上掲載された岩版は、土器の出土傾向と異なり5類も比較的多い。石剣類約35点、石冠2点？、独鈷石2点？掲載され、円盤状石製品は約4,000点出土しているそうである（報告書：p.151）。

土製耳飾りは、約30点出土し、後期末～晩期後葉まで満遍なくある。花卉丸玉は、7点掲載され

（報告書：図93-196、199、201、204～207）、第Ⅱ～Ⅲ段階に相当し（金子 2011c）、土器の出土傾向に合致する。弧型（大洞C 1～C 2式古期）の三角玉（金子 2011b）1点も掲載されている（報告書：図94-221）。陰刻2b類（大洞C 1式新期）の鏝形土製品（金子 2011b）が1点掲載され、鏝形製品は、漆製品（報告書：写279-5）、鹿角製品（図186-11、12）も出土している。土製品の編年が当てはまるか不明だが、漆製品は張り出し形突起類（大洞BC1式期）、鹿角製品は、張り出し形突起類（大洞BC1式期）と中間類（大洞BC2式古期）の可能性がある。長菱形（大洞B2～C 1式期）の菱形環状石製品（金子 2010c）1点（報告書：図145-18）、Ⅱa段階（大洞BC1式期）とⅢa段階（大洞C 1式期）のボタン状石製品（金子 2010b）が掲載されている（報告書：図146-11、15）。石製玉は多く、30点以上掲載され、孔の開けられた装身具と推測される石製品も多い。その他、漆耳飾2点、漆櫛38点、漆腕輪38点出土し、骨角牙製の装身具も数点掲載されている。

以下、上記点数に含めなかった関連遺物。図132-4の岩版？、図135-2は、図ではよくわからず、写真もないようなので割愛した。図135-4～6、図136-9、図137-1、図142-6は、磨石等の礫石器との違いが不明瞭なので、図136-11は垂飾品の未成品と考えて、割愛した。図138-11も同様に、厚さも不均質で磨石等の礫石器との違いが不明瞭なので割愛した。図138-2は、写真も観察表もなく、不整形で岩版らしくないので割愛した。図138-6は、激しい擦痕が認められるが、不整形で部厚いので割愛した。図139-4は、擦痕のみの破片のため割愛した。図138-9、図140-7、8、11～13は、「岩版？」としたものとほとんど違いはないが、岩版にしては小さく（概ね5cm以下）、装身具の未成品の可能性も高いので割愛した。図141以降の該当例についても同様である。図143-4は、5cm以上あるが、円形で厚く岩版とするのには違和感があるので割愛した。「写真257の人の身体、横顔、足、二枚貝などを模したもの」（報告書：p.151）は、写真を見る限り、「そのようにも見える」域を超えないので割愛した。図94-223、224は、「土版」とされているが理解できないので割愛した。図95-230～234は、「亀形土偶」（土製品）とされているが、細片のため、図と写真ではよくわからず割愛した。

・川原平(4)遺跡（第13表5072～5074）（青森県教育委員会 2016）

川原平(1)遺跡の東側に隣接するB地区の報告で、この地区は、遺跡内の他の地区より高所の川原平(1)遺跡と同じ段丘面に位置し、便宜的に別の遺跡とされてはいるが（間に沢があるため？）、報告者も述べるとおり（p.195）、川原平(1)遺跡の続きであることは明白なので、本稿で扱った。縄文時代晩期の土坑墓群と土器埋設遺構群が注目されるが、縄文時代中期の集落跡も検出された。

掲載土器は、後期末は川原平(1)遺跡とあまり変わらないが、大洞B1～C 2式が少なく、大洞A1式が多く、これまで見られなかった、大洞A2式～A'新式がある。土偶3点、岩版2点以上、石剣類16点、独鈷石3点、円盤状石製品266点出土している。167点出土した石製玉のうち、155点が土坑から出土しており、そのうち29点がヒスイ製である。

(3)その他の遺跡

上記二遺跡以外で、本稿(6)脱稿後に報告された遺跡のうち管見にした、20点以上土偶が報告されている三遺跡とその関連遺跡（中村）のみを表入力した。

・岩手県北上市中村遺跡（第13表5075～5077）（（公財）岩手県文化振興事業団 2017）

下記、千苺遺跡と同じ自然堤防の北側に隣接し（間に小さな沢？ 現在は市道で区切られている）、同じ築堤事業により21,870㎡調査された。遺跡自体は、奈良～平安時代の集落跡（住居136）を主体とするが、他の時期でも、南側には、隣接する千苺遺跡からの続きが見られる。遺構は検出されなかったが、縄文時代中期後葉、後期前～中葉、晩期前葉？、晩期後葉～弥生時代中期の遺物が出土している。当該期掲載土器は、それほど多くないが、大洞A1～青木畑式がほとんどを占め、それ

以前（大洞C1式?）、それ以降は僅かである。

・岩手県北上市千刈遺跡（第13表5078～5113）（（公財）岩手県文化振興事業団 2016）

遺物図版131のd 32、33は、後期後半の土偶と判断して割愛した。

堤防建設により27,368㎡調査され、縄文時代中期後半の集落跡（住居2）、晩期後葉～弥生時代中期の集落跡（住居4、土坑墓7）、奈良～平安時代の集落跡（住居89）、中世の居館跡などが検出された。縄文時代後期前～後葉、晩期前半の土器も、散発的に出土している。

当該期土器は、大洞A1～青木畑式がほとんどを占め、谷起島式は少なく、弥生時代中期中～後葉はさらに少なく、大洞B1、2、C1～2式は非常に少ない。

関連遺物は、動物形土製品1点、土版4点である。動物形土製品は縄文時代後期の可能性も残すが、出土土器の偏りから当該期に帰属する可能性が高い。その他、動物（クマ）形突起の可能性のあるものが3点出土しているが（報告書d51、52、56）、定かではない。

石剣類は42点出土したとされるが、図が掲載された19点を見る限り未成品や?のつくものばかりで、典型例は僅かである。長い独鈷石1点が出土している。

その他、土製耳栓2点は角張っており、大洞A1式期のC2ネジ形系列と思われる（金子 2009a、2010d）。土製玉類は2点で、1点（報告書d45）が第Ⅳ段階（大洞C2～A1式期）の花弁丸玉（金子 2011c）、1点（同d46）が同時期と思われる瓢箪小玉である（金子 2006：p.29）。石製玉類10点は、弥生時代前期を中心にした時期とされ（報告書：p.413）、碧玉製管玉2点、勾玉2点、平玉6点で、滑石製が多い。その他、スプーン状土製品が3点、土製紡錘車1点出土しており、石器類では、石鏃と磨製石斧の未成品および加工具が多い。

・岩手県奥州市杉の堂遺跡（第13表5114～5137）（（公財）岩手県文化振興事業団 2020）

岩手県では古くから著名な晩期の遺跡だが、実測図を伴って報告されたことがほとんどなく、本稿でも、これまで表に出来なかった。

国道拡幅により1,160㎡調査し、縄文時代晩期、古代の集落跡が主として検出されたが、縄文時代早期、中期、弥生土器も出土している。

当該期土器は、大洞B2～BC2式、C2～A1式が多く、大洞C1、A2～A'式古期は比較的少ないが、大洞A'式新期～弥生時代中期中葉土器も出土している。

土偶は25点出土したが、第123図d18は、大洞A'式土器の脚であるため割愛した。

土版6?点、石剣類42点、石冠2?点、独鈷石1点、円盤状石製品83点出土している。土坑から舟形土製品（ミニチュア土器?）が1点出土した。

・宮城県旧田尻町北小松遺跡（第13表5138～5172）（宮城県教育委員会 2021）

複雑に開析された低丘陵とそれに取り囲まれた沖積地からなり、丘陵裾を中心に遺構、遺物が発見されている。調査は圃場整備に伴い、水路、農道予定地を主体としているため、トレンチ状の調査区が長く続く形になっている。調査は継続して行われ、ここで取り上げる報告は平成22年度のもので、それ以前の報告分に関しては、本稿(6)第9表に示し、晩期後半を中心にした土偶が45点ある。なお、「土偶とその情報」研究会の宮城大会シンポジウム集成資料（1996）には、同じく晩期後半を中心にした土偶が4点掲載されている（本稿(2)）。

この調査では、晩期中葉から弥生時代前期にかけての集落跡が主として検出された。出土土器は、縄文時代早期中葉以後多時期にわたるが、後期後葉～晩期末が主で、中でも大洞A1～2式が最も多く、次いで大洞C2式である。

土偶は、掲載土器の割合に比して後期と思われるものが多い。報告書第244図1は、当該期の土偶

ではないので割愛した。動物形の付いた大洞A1式土器が注目される（第125図1）。

4. 小括

東北地方の当該期の土偶多出遺跡は、大洞C2～A1式期に多く（金子 2017）、今回取り上げた遺跡にも当てはまる。東北北部太平洋側では、これに加え大洞BC2式期にも多出遺跡がある（金子 2017）。今回取り上げた五月女菰、川原平(1)遺跡は、いずれも日本海側で、やはり当てはまらないが、土器自体も岩手県などと比べて出土量あまり多くないことに気づいた。その意味するところについては今後の検討が必要だが、いずれにしろ繁栄期に土偶が多いことは確実であろう。

遺跡全体を調査した川原平(1)遺跡については、今後さまざまな検討を加えていく価値があるが、地点ごとの動向を見ても、やはり土器の出土量の多い時期の土偶が多いことは確かである。そうした点で、これまで不明だった後期末～晩期初頭の土偶様相が明らかになることがまず期待される。

次の晩期前～中葉は、やはり遮光器土偶が主体となるが、太平洋側に比べ劣品が多いのが気になる。第4図2などは、大型にも関わらず、かなり出来が悪く、まるで関東・中部地方の遮光器系土偶のようで（金子 2020）、加えて、どういう意味なのか、額に仮面を被るかのような獣面が見られる。これに比べれば第4図1は、かなりよい出来だが、それでも何となく違和感を持ち、それは製作技法に如実に現れている。大型遮光器土偶であるにも関わらず、獣面例と同じく、全身中空ではなく腕が中空になっていないのである。

次の晩期中～後葉は、より顕著に地域性が現れ、それは、より北海道に近い五月女菰遺跡に顕著である。x字形土偶に似て抽象的だが、より“ひとがた”に近い類型（表では、x字形×小型遮光器土偶を略記）がその代表である。

そのほか、川原平(1)遺跡では、表面に漆付着とされる例が注目される（第5図6、7ほか）。

千苅遺跡も、岩手県にも関わらず劣品が目立つ。優品ばかりの九年橋遺跡から北北東に約4kmしか離れていないにも関わらずである。確かに時期は九年橋遺跡より後が主体だが、大洞A1式期は重なる。通常の優品は第13表5101くらいしか見当たらず、中には大型なのに板状ものもある（第6図6）。こうした特徴は、岩手県でも最南部の旧大東町大洞地、水無遺跡に類似するが（本稿(6)第12表）、なぜそれほど南でもない千苅遺跡にそうした特徴が見られるのか分からない。ちなみに、大洞地、水無遺跡の様相は、今回取り上げた北小松遺跡にも共通するもので、東北地方の中で一般的に南に行くほど劣品の割合が多くなる。なお、青森県南部～岩手県北部を中心に、北に向かっても同様である。

杉の堂遺跡で興味深い大型遮光器土偶が見られた（第6図8）。脇の下の胴部に文様が施されておらず単純に磨かれているのである。同様の例は、岩手県岩手町高梨遺跡例にも見られる（第6図9）。うっかり、施文する前に腕を胴部に接続してしまったために、こうした取り扱いをするのだろうか。金子(2018)では、使用方法に関係し「ここを磨いて面とすることで、何かに据え付けやすくする」（p.38）のではないかと解釈してみたが、そのまま据え付ければよく、あえて磨く必要性は薄いであろう。

註

- (1) 類例として、岩手県上鷹生遺跡例が挙げられ(財)岩手県文化振興事業団 1997：第193図2099)、上鷹例の場合は尻上の文様から後期後葉瘤付土器第Ⅰ段階の可能性はある(金子 2016b：p.2)。
- (2) 図では平板に見え、文様意匠からx字形土偶への近似を看取してしまうが、写真を見るときと立体的で、上述の岩手県上鷹生遺跡例(財)岩手県文化振興事業団 1997：第193図2099)に近く、立体的で丸い乳房、臍の貼付も、後期後葉の方に近い。胴部の文様意匠は、この時期それほど一般的ではないが、似たものがないわけでもない(金子 2016b：第4図6)。
- (3) 屈折像B類土偶のうち、岩手県宇登遺跡例のような腕脚に文様が限定される段階に比定されるものと思われる(金子 2021)。本例は立像姿態である可能性が高いが、「屈折像B類」には元々立像姿態も併存し、このことは「屈折像B類」が後に立像が主体の結髪土偶に変化することからも裏づけられる。
- (4) 円く貼付された乳房からやや離れた上方に隆帯が斜行しており(第1図12)、これは、一般的な結髪土偶の乳房表現(胸の隆帯)が重複して施されたのか、あるいは頭部の装飾なのだろうか。
- (5) 総括報告書(青森県教育委員会 2017e)の「遺物接合関係」を見ると(図18)、60m以上の遠距離接合のようだが、それが同一個体と見なした破片同士なのか実際に接合しているのか読み取れない。
- (6) 伴伴土器から後期末葉と推測されている(報告書第1分冊：p.186)。
- (7) 左腕の破損部に黒色付着物(「アスファルトであろうか」)。
- (8) 土坑覆土上層中心に一帯で破片が出土し、報告書に詳しい記載がある(p.148、302)。
- (9) 「表裏面に漆を塗布」(報告書：p.139)。肩から背中にかけて続く平行沈線。背中中央円形沈線。乳房円形貼付。
- (10) 正中線I字状沈線、▼(女性器)磨消縄文で魚眼状文状に三叉文を配し間に縦沈線を挟むものだが、同じ文様が背面にも見られ女性器ではないかもしれない。口横三叉文。乳房が隆帯状であることや、後頭部突起頂部に刻目列が施されることもあり、全体の印象がミミヅク土偶にやや似る。本稿第3図1。
- (11) 宮城県田柄貝塚に類例がある。宮城県教育委員会(1986)の第5図15=金子(2016b)の第5図4。
- (12) 「4グリッドにまたがってバラバラの状態で出土」「膝頭の上部分が欠損しているため、腕部が付着していたと考えられ」る(報告書：p.96)。一つのグリッドは隣接しない。背中に入組文、隙間に三叉文。焼成良好。丸顔。後頭部結髪。縄文。被熱痕あり。
- (13) 「欠損部3箇所」にアスファルト」と観察表にあるが、図には首しか示されていないようである。
- (14) 三つの出土地点の破片が接合し、一つ隣接していないグリッドがある。
- (15) 「脚部のみで閉塞された中空の作り」(報告書第2分冊：p.401)で、部位を接続する際、大型遮光器土偶のようには中空部分を連続させようとしなかったことがわかる。

参考文献

- 青森県教育委員会 2016a『川原平(1)遺跡Ⅱ』青森県埋蔵文化財調査報告書第564集
2016b『川原平(1)遺跡Ⅲ』青森県埋蔵文化財調査報告書第565集
2016『川原平(4)遺跡Ⅳ』青森県埋蔵文化財調査報告書第566集
2017a『川原平(1)遺跡Ⅳ』青森県埋蔵文化財調査報告書第576集
2017b『川原平(1)遺跡Ⅴ』青森県埋蔵文化財調査報告書第577集
2017c『川原平(1)遺跡Ⅵ』青森県埋蔵文化財調査報告書第578集
2017d『川原平(1)遺跡Ⅶ』青森県埋蔵文化財調査報告書第579集
2017e『川原平(1)遺跡Ⅷ』青森県埋蔵文化財調査報告書第580集
(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 1997『上鷹生遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第253集
(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 2016『千苺遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第652集
2017『中村遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第671集
2020『杉の堂遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第716集
金子昭彦 2003「土偶はどれだけ壊れているか」『日本考古学』第15号 日本考古学会
金子昭彦 2004「結髪土偶と刺突文土偶の編年」『古代』第114号 早稲田大学考古学会
金子昭彦 2006「東北地方北部における縄文晩期の『装飾品』(1)」『紀要』XXV (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
金子昭彦 2009a「縄文晩期・東北北部の土製耳飾」『縄文時代』第20号 縄文時代文化研究会
金子昭彦 2009b「東北地方・縄文晩期における弧状土製品」『物質文化』87号 物質文化研究会
金子昭彦 2010a「東北地方・縄文晩期の土偶(1)」『紀要』XXIX (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
金子昭彦 2010b「北日本・縄文晩期のボタン状製品」『岩手考古学』第21号 岩手考古学会
金子昭彦 2010c「東北北部・縄文晩期の菱形環状製品」『青森県考古学』第18号 青森県考古学会

第13表 多出遺跡補遺(1)（※註の内容は本文註の後に）

No.	県	遺跡名	形態	時期	部位					残存率	現長 cm	接合 赤	付着物 黒	つくり (製作痕)	女性	出土 位置	遺跡 立地	評価	掲載箇所	備考	
					頭	胸	腹	腰	腕												脚
4583	青	五月女苑	x字形	C2 ?						1/3	5			小型板状					五所 06 → 9 図 6	臍?円形貼付。無文? 足突起陰刻 無	
4584	青	五月女苑	小遺?	C1 古?						○	小片	2							Ⅲ -2-1-99-16	B 突起状。裁痕列	
4585	青	五月女苑	大遺?	BC2 ?						△	小片	2.8		中空					Ⅲ -2-1-205-40		
4586	青	五月女苑	大遺	C1 古				△			小片	5.5	△	中空					Ⅲ -2-4-12-1	摩滅。部位境裁痕列。磨消縄文	
4587	青	五月女苑	大遺	C1 古		△				○	1/10	9	△	中空					Ⅲ -2-4-12-2	摩滅。部位境裁痕列。磨消縄文	
4588	青	五月女苑	大遺	BC2			△	△			小片	8.5	△	中空					Ⅲ -2-4-12-3	摩滅。部位境裁痕列。腰に文様帯(ノ字文)	
4589	青	五月女苑	大遺	BC2				△			小片	5.8		中空					Ⅲ -2-4-12-4	摩滅。部位境裁痕列。腰に文様帯(ノ字文)	
4590	青	五月女苑	大遺	C1 古		△	△				小片	7.4		中空					Ⅲ -2-4-12-5	摩滅。部位境裁痕列。磨消縄文	
4591	青	五月女苑	大遺	BC2 ?					△		細片	3.8		中空					Ⅲ -2-4-12-6	摩滅。裁痕列	
4592	青	五月女苑	大遺	BC2			△	△			小片	7.4	△	中空					Ⅲ -2-4-12-7	摩滅。部位境裁痕列	
4593	青	五月女苑	大遺	C1 古??						△	小片	4		中空					Ⅲ -2-4-12-8		
4594	青	五月女苑	?	後後?						△	小片	8	△	中空					Ⅲ -2-4-12-9	摩滅。異形土器? 多重円文? 足無?	
4595	青	五月女苑	大遺	～ C1 古		△					細片	3.8		中空					Ⅲ -2-4-12-10	摩滅。陰帯上に刺突列	
4596	青	五月女苑	大遺	BC2						△	小片	4.4		中空					Ⅲ -2-4-12-11	摩滅。部位境裁痕列	
4597	青	五月女苑	大遺	BC2 ?			△				細片	5.2	△	中空					Ⅲ -2-4-12-12	摩滅。貫通孔。裁痕列。刺突。磨消縄文	
4598	青	五月女苑	大遺	BC2 ?	△						小片	9	△	中空					Ⅲ -2-4-13-13	摩滅。頭頂部に B 突起	
4599	青	五月女苑	大遺	BC2 ?	△						小片	5.5	△	中空					Ⅲ -2-4-13-14	摩滅。後頭部剥落。裁痕列	
4600	青	五月女苑	大遺?	BC ?					?		細片	2.4		中空					Ⅲ -2-4-13-15	摩滅。ノ字文?	
4601	青	五月女苑	大遺	BC ?					?		小片	5	△	中空					Ⅲ -2-4-13-16	摩滅。磨消縄文	
4602	青	五月女苑	大遺	C1 古?		△					細片	3 ?	△	中空					Ⅲ -2-4-13-17	摩滅。肩。陰帯上刺突列。磨消縄文	
4603	青	五月女苑	大遺	BC2 ?						△	小片	4		中空					Ⅲ -2-4-13-18		
4604	青	五月女苑	大遺	～ C1 古						△	細片	3.5		中空					Ⅲ -2-4-13-19	摩滅	
4605	青	五月女苑	大遺	BC2 ?	△					△	小片	7.5	△	中空					Ⅲ -2-4-13-20	摩滅。陰帯上に刺突列。磨消縄文	
4606	青	五月女苑	x字形	C2 中?			◎	◎		○	2/5	3.8	△						Ⅲ -2-4-14-21	足に陰刻無。正中線（沈線）系列?	
4607	青	五月女苑	x字×小遺	C2 II ?	◎	◎	◎	◎	◎	◎	略完	11.7	△	割口	小型板状	集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-14-22	右乳房アスファルト。正中線雲形文	
4608	青	五月女苑	x字形	C2 中?	◎	◎	◎	◎	◎	◎	4/5	8.8		割口	小型板状	集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-14-23	右胸にアスファルト。無文。正中線系列?	
4609	青	五月女苑	x字×小遺	C2 III ?	◎	◎				△	3/10	5.7	△	小型板状		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-14-24	眼沈線。正中線刺痕列。雲形文?	
4610	青	五月女苑	x字×小遺	C2 II ?		△	○	○			1/5	6.6	△	小型板状?		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-14-25	摩滅。片面剥落。雲形文	
4611	青	五月女苑	結髪	A1		◎	◎	◎			3/10	8		股刺突		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-14-26	乳～肩陰帯上工字系三叉文。パンツ縄文	
4612	青	五月女苑	結髪	A1		◎	◎	△			1/5	6.7	△	中央突		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-14-28	乳房丸。胸に逆三角沈線文。肩沈線	
4613	青	五月女苑	x字形	C2 中?		◎	◎	◎	○		5/6	6.2	△	小型板状		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-14-29	縁取文系列（多重線）。正中刺痕列	
4614	青	五月女苑	結髪?	A2 ?					△		小片	4.8				集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-15-30	二重弧線? 刺突充填	
4615	青	五月女苑	大遺系統	A1	○	△				○	1/5	6.8	△	割口	中空	集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-15-31	摩滅。頭頂と胸にアスファルト。口三叉文	
4616	青	五月女苑	大遺系統	A1		△				○	1/10	5			中空	集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-15-32	肩に工字文。指先刻目列	
4617	青	五月女苑	大遺系統?	A1		△					小片	2.4				集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-15-33	工字文・刺突多。乳房?	
4618	青	五月女苑	大遺系統?	C2 中?	○						小片	5.3				集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-15-35	目刺痕列。三口状	
4619	青	五月女苑	後期以来	B1 ?	○						1/8?	5.4		深い刺突		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-15-36	頭頂と耳に刺突。髷面。弧状眉刻目列	
4620	青	五月女苑	?	B1?A1?	○	△					不明	9	△	中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-15-37	口貫通孔。頬に I 字状文。胸刺突多。摩滅	
4621	青	五月女苑	小遺???	C1 ?	○						小片	3.4	△	頭頂刺突		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-15-38	遮光器眼?? 刺突多。摩滅	
4622	青	五月女苑	大遺系統	A1 ?	○						小片	2.8		中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-15-39	鼻貼付。口沈線刺突列。後頭平行線	
4623	青	五月女苑	結髪??	後葉?						不明	小片	3.4		表裏刺突		集石	段丘	拠点	Ⅲ -2-4-16-40	後期中葉土偶の肩? 摩滅	
4624	青	五月女苑	後期以来	後後?	○						1/3?	9.8		摩滅		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-16-41	平行線による。首下弧線。背中入組文	
4625	青	五月女苑	屈折像 B	C2 中			○	○		△	1/5	6.6			◎	集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-16-42	鼻貼付。口沈線刺突列。後頭平行線	
4626	青	五月女苑	結髪	A1	?						細片	2.2		中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-16-43	「胸」。結髪? 工字文	
4627	青	五月女苑	小遺?	C1 古?						○	小片	4.5		中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-16-44	部位境沈線間に弧状の沈線。手陰刻無	
4628	青	五月女苑	後期以来?	後後?			○	○		○	不明	13.5	△	輪積中空	バ?	集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-16-45	全体摩滅	
4629	青	五月女苑	?	A1 ?	○						不明	6	△			集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-16-46	土版型土面顔。目刺痕列。頬工字陰刻	
4630	青	五月女苑	?	C2 ?	○						不明	5				集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-16-47	全体摩滅。眉鼻口連結陰帯。目貼付	
4631	青	五月女苑	大逆出模倣	～ A1	○						1/7	7.8				集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-16-48	三つ口状。後頭部工字状陰刻	
4632	青	五月女苑	小遺	C1 古?		○	○	○	◎	◎	2/3	12.8	△		線	集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-16-49	大遺模倣。正中陰帯。手 B 突起。裁痕列	
4633	青	五月女苑	後期以来	B1 ?	○						不明	5.5				集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-17-50	後頭部両耳深い刺突。髷面。	
4634	青	五月女苑	小遺?	C1 古?	△						細片	6.4	△			集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-17-51	顔剥離? 頭頂、耳 B 突起	
4635	青	五月女苑	大遺系統	C2 V ?						○	小片	3.6		中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-17-52	磨消縄文（横位連続）	
4636	青	五月女苑	?? ?	C2 古?					△		小片	3.8				集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-17-53	部位不明。全体摩滅。C 字入組文	
4637	青	五月女苑	大遺系統	A1		△				○	小片	5		中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-17-54	全体摩滅。入組工字文。指先刻目列	
4638	青	五月女苑	註 3	C2 II ?						△	不明	9.5		中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-17-55	全体摩滅。下と同一? 胸下半 C 字入組文?	
4639	青	五月女苑	註 3	C2 II ?						△	不明	3.8				集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-17-56	全体摩滅。4638 と同一? 胸下半入組文	
4640	青	五月女苑	屈折像 A ?	後後?						△	不明	4.7		空洞あり		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-17-57	縄文文帯。爪先刻目列	
4641	青	五月女苑	大遺??	B2 ??				△		○	不明	5.5		中空	バ?	集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-17-58	足へら形。パンツ区画?	
4642	青	五月女苑	刺突文相形?	不明						?	小片	5.5		中空		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-17-59	刺突文多	
4643	青	五月女苑	大遺系統?	C2 中～						△	小片	1.3		足中実		集石	砂丘	拠点	Ⅲ -2-4-17-60	足角張った小判形?	
4644	青	五月女苑	大遺	BC1 ?		△				○	小片	6.6		中空		1 集	砂丘	拠点	Ⅲ -3-1-65-7	磨消縄文（方形）。裁痕列無。手陰刻少	
4645	青	五月女苑	後期以来?	後末?	○	○					不明	4				線	1 集	砂丘	拠点	Ⅲ -3-1-65-8	正中 Y 字沈線。耳貫通孔。頭頂目短沈線
4646	青	五月女苑	x字形?	C2 後半?						○	小片	1.5		小型板状		1 集	砂丘	拠点	Ⅲ -3-1-65-9	全体に摩滅。直線の。手 B 突起陰刻無	
4647	青	五月女苑	大遺?	BC1 ?	△						小片	3.3		中空		2 西	砂丘	拠点	Ⅲ -3-2-17-1	頭頂開口? 頭頂 B 突起刻目列	
4648	青	五月女苑	大遺祖形?	B2 古?	△	◎					不明	8		頭空洞		2 東	砂丘	拠点	Ⅲ -3-2-35-1	★体内管状隙間。背中 6 字? 方形文	
4649	青	五月女苑	x字×小遺	C2 後半?	△	◎	◎	◎	◎	◎	4/5	7	△	小型板状	◎	3 東	砂丘	拠点	Ⅲ -3-3-15-1	縁取文系。長身。正中刺痕列。▼刺突?	
4650	青	五月女苑	小型無文																		

No.	果	遺跡名	形態	時期	部位					残存率	現長 cm	接合 赤 黒	付属物	つくり (製作痕)	女性	出土 位置	遺 跡		掲載箇所	備 考	
					頭	胸	腹	腰	腕								立地	評価			
4664	青	五月女苑	刺突文祖形?	不明						小片	4.5			中空		5集	砂丘	拠点	Ⅲ -3-5-8-5	結髪土偶? 背中? 刺突文	
4665	青	五月女苑	大遮	～C1 古	△					細片	4			中空		5集	砂丘	拠点	Ⅲ -3-5-8-6	BC2～。全体摩滅。肩2条陰帯刺突列	
4666	青	五月女苑	結髪??	A1??				?		細片	2.7			中空		5集	砂丘	拠点	Ⅲ -3-5-8-7	「大遮」。腰? 刺突文?	
4667	青	五月女苑	大遮系統?	A1???		?				細片	3.4			中空		5集	砂丘	拠点	Ⅲ -3-5-8-8	結髪土偶? 全体に摩滅。陰帯に刺突列	
4668	青	五月女苑	屈折像B?	C2??					△	小片	5.5					5集	砂丘	拠点	Ⅲ -3-5-8-9	全体に摩滅。ふくらはぎ突出。足へラ形	
4669	青	五月女苑	×字形	C2 前半	◎◎◎◎◎◎	◎	◎	◎	◎	略完	5			小型板状	線	6西	砂丘	拠点	Ⅲ -3-6-7-1	正中線系列。正中刺痕列。脚大きく開く	
4670	青	五月女苑	刺突文祖形	A1??			○	○		1/5	2.4	△	?	中空		線	6東	砂丘	拠点	Ⅲ -3-6-34-2	藤縄文地工字文。胴表刺突多。正文文様
4671	青	五月女苑	結髪??	A1???				?		細片	3			中空?				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-1-1	全体に摩滅。刺突文
4672	青	五月女苑	刺突文祖形?	A1??		△			○	不明	3.6							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-1-2	全体に摩滅。肩バット状陰帯に多重線
4673	青	五月女苑	小遮??	不明					?	小片	2.3							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-1-3	粗雑。肩との境? に沈線
4674	青	五月女苑	小遮	BC2??						△	小片	2.6		中空				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-1-4	全体に摩滅
4675	青	五月女苑	結髪??	A1???				?		細片	1.8			中空				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-1-6	刺突多
4676	青	五月女苑	大遮	C1 古		△			○	1/10	6	△		中空				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-1-7	全体に摩滅。腕垂直垂下。磨消縄文
4677	青	五月女苑	×字変形	C2??		○	◎	◎	△	5/9	8.8			小型板状	◎			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-1-8	▼B突起。正中刺痕列。側面沈線刺痕列
4678	青	五月女苑	×字形	C2??			△	◎	◎	1/3	3.8			小型板状				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-1-9	縁取文系列。表裏側面沈線。陰刻無
4679	青	五月女苑	屈折像B?	C2??					○	1/6	6.6		割口	中隙間?	◎			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-1-10	▼線バント。背中黒付。縄文。★虎穴
4680	青	五月女苑	屈折像B?	C2??						△	小片	5.2	△					砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-1-13	膝に円文。ミガキ光沢。1172 類例
4681	青	五月女苑	大遮	C1 古?	△					小片	3.6	△		中空				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-1-15	全体摩滅。耳突起
4682	青	五月女苑	×字変形?	C2??	◎◎◎◎◎◎	◎	◎	◎	◎	完形	5.7			胴横貫通				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-1-16	貼付多立体的。肛門孔。装身具? 63 g
4683	青	五月女苑	大遮系統	C2 中～					△	小片	2.6	△		中空				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-1-17	脚太い。爪先刻目列
4684	青	五月女苑	小遮系統?	A1??					△	○	不明	5						砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-1-19	腰に渦巻文。大遮系統??
4685	青	五月女苑	×字形	C2??		◎◎◎◎◎	○			5/9	5.4	△		小型板状	線			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-2-20	正中線系列。正中刺目列。腕水平
4686	青	五月女苑	結髪?	A1??			△	○		1/7	3.5			バ?				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-2-21	腰脇に多重円。縄文
4687	青	五月女苑	?	不明					?	不明	2.5							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-2-22	結髪変形?? 台状脚無文 土偶?
4688	青	五月女苑	?	不明					?	不明	2.5							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-2-23	小遮系統 C2? 後期? 多重線。端凹
4689	青	五月女苑	屈折像B?	C2??					○	小片	11.2		割口					砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-2-24	脚黒付。胎土粗。ふくらはぎ表現。無文
4690	青	五月女苑	大遮	C1 古		△			○	1/10	9.1	△	割口	中空				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-2-25	腕垂直。肩黒付。磨消縄文。黒色研磨
4691	青	五月女苑	大遮	BC1??		△			○	1/9	7.4			中空				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-2-26	大遮もどき? 肩水平。磨消縄文。手B突起
4692	青	五月女苑	大遮	C1 古?				△	△	細片	4.2	△		中空				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-2-27	図天地逆。全体摩滅。部位境裁痕列
4693	青	五月女苑	×字形	C2??	◎◎◎◎◎◎	◎	◎	◎	◎	完形	5			小型板状				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-2-28	無文。鼻? 乳貼付。四肢陰刻無。20 g
4694	青	五月女苑	大遮系統	A1??			△	△		小片	2			中空				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-2-29	全体摩滅。「肩」。沈線文
4695	青	五月女苑	小遮異形	～C1 古	◎◎◎◎◎◎	◎	◎	◎	◎	7/9	11.4	△		頭頂凹。→	線			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-2-30	★口～後頭貫通孔。正中沈線。蔓状文
4696	青	五月女苑	屈折像B	C2??		○	○	○		3/10	5.2			立像姿態?	●			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-2-31	乳大。正中刺痕列。バント。縦に欠損
4697	青	五月女苑	?	不明		○	◎	◎	?	◎	不明	2.3						砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-2-32	
4698	青	五月女苑	?	不明					?	不明	2.2							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-2-33	「腕」
4699	青	五月女苑	大遮	～BC2	△					小片	5.2			中空				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-36	摩滅。後頭部。裁痕列。縄文地蛇行沈線
4700	青	五月女苑	大遮	～C1 古			△			細片	4			中空				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-37	下腹上。渦巻裁痕列
4701	青	五月女苑	大遮系統	A1??					△	1/8	3.8	△	割口	中空				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-38	股下貫通孔? 縄文地工字文
4702	青	五月女苑	大遮系統	A1??					△	小片	3.5	△		中空				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-39	「肩」。工字文
4703	青	五月女苑	×字×小遮	～A1??	○					1/8	5			板状?				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-40	頭頂、後頭、耳に突起。4724 類例?
4704	青	五月女苑	大遮系統	A1??	△					小片	3.1							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-41	頭頂突起。黒色研磨。九年橋遺跡に類例
4705	青	五月女苑	×字形	C2??					?	小片	2			小型板状				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-42	「頭」。無文陰刻無
4706	青	五月女苑	結髪?	A1??		○	◎	△		不明	8.2	△			◎			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-44	正中沈線。バント。縄文。註4
4707	青	五月女苑	小型無文	不明	◎◎◎◎◎◎	◎	◎	◎	◎	完形	1							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-45	
4708	青	五月女苑	屈折像B?	C2??			○	○		1/7	2.8				バ			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-46	図天地逆。バント内縄文
4709	青	五月女苑	大遮系統	A1??	△					小片	3							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-48	頭頂突起。九年橋遺跡に類例
4710	青	五月女苑	×字形?	C2??					?	小片	2.8			小型板状				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-49	「頭」。片面摩滅
4711	青	五月女苑	大遮系統?	～A1	○					不明	5							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-50	全体摩滅。弧状眉に鼻連結。側頭突起列
4712	青	五月女苑	後期以来	～後末	○			△		2/7	6.8			板状	線			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-52	全体摩滅。正中縄文帯。首下三叉文。
4713	青	五月女苑	後期以来	後末前後					△	小片	4.6							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-55	膝頭表現。爪先短沈線列
4714	青	五月女苑	屈折像B	C2??		○	○	△		1/10	10.4			肛門深穿孔	線			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-56	全体剥離摩滅。正中刺痕列
4715	青	五月女苑	小遮系統?	C2??		◎◎				不明	4.2			★乳房連結	線			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-57	裏摩滅。正中刺痕列。胴部全体文様
4716	青	五月女苑	刺突文祖形?	A1??		部位			不明	細片	3.8			中空				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-58	結髪土偶? 貫通孔。刺突
4717	青	五月女苑	結髪?	A1??				△		小片	4			中空				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-59	二条沈線。刺突多
4718	青	五月女苑	屈折像B	C2			○	○		1/8	4.8				◎			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-3-60	全体摩滅。正中刺痕列。バント。縄文
4719	青	五月女苑	大遮	B2??	△					小片	5	○		中空				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-4-66	黒色研磨。弧状眉。口貫通孔。頸弧線
4720	青	五月女苑	大遮	BC2		△				小片	3.8			中空				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-4-67	胸▽陰帯刺突列。山字文。縄文
4721	青	五月女苑	大遮??	～C1 古						細片	1.5			中空				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-4-68	二条陰帯上に刺突列
4722	青	五月女苑	大遮	BC1??	△	○			△	1/9	6.4			中空製作痕				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-4-69	乳小さめ裁痕列無。磨消縄文（方形）
4723	青	五月女苑	×字×小遮	C2	◎◎◎◎◎	△	◎	◎	◎	不明	9			板状	線			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-4-71	正中刺痕列。頭頂凹。胴部縄文地文様
4724	青	五月女苑	×字形	C2	◎◎◎◎◎◎	◎	◎	◎	◎	4/5	11.5	△	○	小型板状	線			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-4-72	正中線系列。正中刺痕列。頸複線突起
4725	青	五月女苑	×字変形	C2??	◎◎◎◎◎◎	◎	◎	◎	◎	一欠	5.6		○	小型板状				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-4-73	腕水平。胴縁帯縄文
4726	青	五月女苑	×字形	C2??		○	◎	◎	△	3/5	12.2			小型板状	線			砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-4-74	正中線系列。正中刺痕列。脚水平
4727	青	五月女苑	小型無文	C2??	△	○	◎	◎	◎	不明	7	△		小型板状				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-4-75	四肢B突起（×字形と同じ）
4728	青	五月女苑	×字形	C2??		△	◎	◎	△	1/2	5.4			小型板状	線						

No.	県	遺跡名	形態	時期	部位						残存率	現長 cm	接合	付着物 赤 黒	つくり (製作痕)	女性	出土 位置	遺 跡		掲載箇所	備 考
					頭	胸	腹	腰	腕	脚								立地	評価		
4745	青	五月女苑	屈折像B?	C2?						小片	4							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-93	首輪状に隆帯刻目列。 類別 1185、3305
4746	青	五月女苑	?	?	○					不明	2.4							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-94	鼻の位置→大遼系統? 相雄。鼻貼付
4747	青	五月女苑	大遼系統	A1	○					1/9	6.2			胴中空?				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-95	全体摩滅。角状突起に多重線
4748	青	五月女苑	小遼	C1古?		◎	◎	◎	◎	7/10	6.4		割口					砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-97	胴長系列。首に黒付。文様多。腰突出
4749	青	五月女苑	小遼?	C1古?		○				1/8	3.6		割口					砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-98	腕首に黒付。黒色研磨。背中入組文
4750	青	五月女苑	後期以来	～後末?	△	○			△	3/10	2.5							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-99	vネック系列。背中入組文?
4751	青	五月女苑	屈折像B	C2中?			○	◎		1/4	7.6	△				●		砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-101	正中刺痕、パンツ内縄文。▼線。屈曲弱
4752	青	五月女苑	小型無文?	不明		○	◎	○		不明	5.2							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-102	全体摩滅激しい。乳房円形貼付
4753	青	五月女苑	?	不明			?	?		不明	5.5							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-103	図天地逆? 腰? B突起・水平沈線
4754	青	五月女苑	大遼系統?	A1?		○	△			小片	4.2			中空		線		砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-104	結髪土偶?正中線隆帯刻目列。黒色研磨
4755	青	五月女苑	結髪?	A1?			△			小片	3.8	△		中空				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-105	大遼系統? 「肩」。多重線
4756	青	五月女苑	結髪?	A1?			△			小片	2.8			中空				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-106	結髪土偶? 「肩」。入組多重線
4757	青	五月女苑	結髪	A1		○			○	1/10	4							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-107	肩刻目隆帯一周背巾磨。肩直角
4758	青	五月女苑	大遼系統?	～A1					○	小片	4.3							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-108	肩に縄文隆帯。腕に沈線B突起
4759	青	五月女苑	大遼系統?	A1		△				小片	3.7							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-109	肩に多重線
4760	青	五月女苑	大遼系統?	A1?		?			?	小片	5.4			中空				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-110	図天地逆? 「腰」。刻目隆帯2、多重線
4761	青	五月女苑	肩バット	A1		△			○	不明	4.5			輪積中空				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-111	工字文
4762	青	五月女苑	刺突文祖形	A1?		○	○			1/2	9.6	△		胸膛中空				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-112	肩瘤、隆帯。背工字文。刺突多
4763	青	五月女苑	刺突文祖形	A1?		○				小片	5	△		中空		線		砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-5-113	正中Y字沈線。背中刺突帯の連続
4764	青	五月女苑	結髪??	A1??		△			○	小片	1.1							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-6-114	肩に多重弧線
4765	青	五月女苑	?	後期?					△	小片	1.5							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-6-115	指表現?
4766	青	五月女苑	?	後期?					○	不明	2.3							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-6-116	
4767	青	五月女苑	屈折像A?	後期?					△	不明	3.6		割口					砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-6-117	爪先刻目列。脚に黒付。粗雄
4768	青	五月女苑	小遼	～C1古					△	1/8	4			中空				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-6-120	腰横B突起。蓑状文
4769	青	五月女苑	屈折像A?	後期?					△	不明	4							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-6-121	全体に摩滅
4770	青	五月女苑	屈折像A?	後期?					△	不明	2.4							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-6-122	4767類似。爪先刻目列
4771	青	五月女苑	?	後期?					△	小片	1.4							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-6-123	爪先刻目列
4772	青	五月女苑	?	後期?					△	不明	4.4							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-6-124	足首に向かってすばまる
4773	青	五月女苑	?	後期?					◎	不明	2			横位貫通孔				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-6-125	爪先刻目列。土偶でない?
4774	青	五月女苑	屈折像?	不明					△	細片	2.2							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-6-126	足首屈折
4775	青	五月女苑	?	後期?					△	小片	3							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-6-128	膝頭表現。爪先刻目列
4776	青	五月女苑	小遼?	～C1古					△	小片	3			中空				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-6-129	底面が窪む
4777	青	五月女苑	大遼系統	A1?					△	1/7	5			中空				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-6-130	足三角形
4778	青	五月女苑	小遼?	～C1古					△	小片	3.2			中空				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-6-132	全体に摩滅
4779	青	五月女苑	小遼?	～C1古					△	1/8	3.5							砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-6-136	爪先刻目列。腰沈線文
4780	青	五月女苑	結髪?	A1?					△	小片	2.2			足中実				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-6-137	
4781	青	五月女苑	結髪?	A1?					△	小片	1.8			足中実?				砂丘	拠点	Ⅲ -4-4-6-138	爪先刻目列(刻目6)
4782	青	五月女苑	刺突文祖?	～A2?				△	◎	2/5	6.2							砂丘	拠点	21→Ⅲ -2-13-1	腹片面刺突多。腰平行線。腰横突出
4783	青	五月女苑	刺突文祖?	後～末	△					小片	2.3							砂丘	拠点	21→Ⅲ -2-13-4	図天地逆?頭頂突起。多重短沈線。縄文
4784	青	五月女苑	?	不明	?					細片	2							砂丘	拠点	21→Ⅲ -2-13-5	「晚期後半後頭部裝飾突起片」。沈線
4785	青	五月女苑	結髪	A1?	○					1/7	7			胴中空				砂丘	拠点	21→Ⅲ -2-64-1	★結髪貫通孔。結髪工字文? 眉鼻T
4786	青	五月女苑	小遼系統?	A1?	◎					不明	3.6			「中空」				砂丘	拠点	21→Ⅲ -2-64-2	後頭部下方山字貼付上刻目列。眉鼻T
4787	青	五月女苑	?	A1??				?		不明	2.3			中空				砂丘	拠点	21→Ⅲ -2-64-3	「下腹」。結髪土偶? 工字文? 穿孔
4788	青	川原平(1)	大遼祖型?	B1?	△					細片	2.6			中空				段丘	拠点	県教16a→182-1	目粘土粒小に沈線。眉弧状隆帯
4789	青	川原平(1)	大遼祖型?	B1?	△					細片	3			中空				段丘	拠点	県教16a→182-2	目粘土粒小に沈線。鼻?隆帯刻目列
4790	青	川原平(1)	大遼	C1古?	△					細片	4.3			中空				段丘	拠点	県教16a→182-3	右目
4791	青	川原平(1)	大遼系統?	C2新～	△					細片	1.6							段丘	拠点	県教16a→182-4	「角状突起」。短沈線の文様
4792	青	川原平(1)	大遼系統	第V?	○	◎				3/10	8.7			中空				段丘	拠点	県教16a→182-5	工字文系三叉文。磨消縄文。後頭貫通孔
4793	青	川原平(1)	小遼?	BC2?	△					細片	4.6	○		中空				段丘	拠点	県教16a→182-6	頭頂扇状突起。後頭部鼓腹列
4794	青	川原平(1)	大遼系統?	A1?	△					細片	2							段丘	拠点	県教16a→182-7	顔の縁? 顔の縁隆帯区画刻目列
4795	青	川原平(1)	〃??	C2～?	△					細片	1.8			中空				段丘	拠点	県教16a→182-8	「口」。摩耗。目の可能性も?
4796	青	川原平(1)	大遼祖型?	B1?	△	○	○	○		2/5	15.5	△		中空		バ		段丘	拠点	県教16a→183-1	背巾入組帯状文ほか文様。頬平行線
4797	青	川原平(1)	大遼?	BC1?	△					小片	5.3			中空				段丘	拠点	県教16a→183-2	首下円形突起。磨消縄文。断続沈線
4798	青	川原平(1)	大遼?	BC1～2					△	小片	5			中空				段丘	拠点	県教16a→183-3	脚細長い。つま先刻目列
4799	青	川原平(1)	大遼系統	A1?	△				○	小片	3.4			胴中空				段丘	拠点	県教16a→183-4	右肩。入組沈線文
4800	青	川原平(1)	屈折像A?	後末?				○		不明	8.3			中空		▼		段丘	拠点	県教16a→184-1	★下面貫通孔。虹門表現も? 縄文
4801	青	川原平(1)	大遼??	不明				?		小片	4			輪積中空				段丘	拠点	県教16a→184-2	「土偶の部品」。写真無。磨消縄文
4802	青	川原平(1)	大遼??	不明			?			小片	3.8			輪積中空				段丘	拠点	県教16a→184-3	「土偶の部品」。写真無。首下?
4803	青	川原平(1)	大遼??	BC1～2	△					小片	3.3			輪積中空				段丘	拠点	県教16a→184-4	「土偶の部品」。写真無。後頭部?
4804	青	川原平(1)	大遼??	不明			?			小片	0.4			中空				段丘	拠点	県教16a→184-7	「土偶の部品」。写真無。肩?
4805	青	川原平(1)	大遼??	不明			?			細片	2.4			中空				段丘	拠点	県教16a→184-8	「土偶の部品」。写真無。縄文。背面?
4806	青	川原平(1)	屈折像A?	瘤Ⅳ	○					小片	8.8	△	○					段丘	拠点	県教16a→185-1	下と同一個体。結髪。耳貫通孔。縄文。註5
4807	青	川原平(1)	〃	〃		○				1/4	8.3	△	◎					段丘	拠点	県教16a→185-2	上と同一。背入組文。区画線三叉文。註5
4808	青	川原平(1)	屈折像A?	瘤Ⅳ					△	小片	8.5							段丘	拠点	県教16a→185-3	「185-1, 2と同一?」。肘隆帯縄文
4809	青	川原平(1)	後期以来?	後末?					○	小片	9							段丘	拠点	県教16a→186-1	「185-1, 2と同一?」?? 肩縄文
4810	青	川原平(1)	屈折像A?	B1?	○					小片	8.5			首中空				段丘	拠点	県教16a→186-2	★口貫通。結髪。縄文。眉目近接。註6
4811	青	川原平(1)	後期以来?	後後?				?													

No.	県	遺跡名	形態	時期	部位					残存率	現長 cm	接合	付属物 赤 黒	つくり (製作痕)	女性	出土 位置	遺 跡		掲載箇所	備 考	
					頭	胸	腹	腕	脚								立地	評価			
4826	青	川原平(1)	大遼系統?	A1?					△	○	1/6	6.2		割口			段丘	拠点	県教 17a→157-1	結髪土偶? 腰・足黒付。腰縄文地沈線	
4827	青	川原平(1)	結髪	A2~?				◎	△		1/5	4.6			中空	◎	段丘	拠点	県教 17a→157-2	岡天地逆。正中6字文、パンツ内条線	
4828	青	川原平(1)	x字形	C2?	○	◎	◎	◎	◎	○	9/10	5.5	漆				段丘	拠点	県教 17a→157-3	陰刻文系列? 帯状文? 粗雄沈線	
4829	青	川原平(1)	後期以来?	後期?					?		不明	4.7					段丘	拠点	県教 17a→157-4	岡天地逆? 腰? 表裏縄文パンツ?	
4830	青	川原平(1)	?	不明						△	小片	2					段丘	拠点	県教 17a→157-5	写真無。脚と足の境沈線。小遼??	
4831	青	川原平(1)	後期以来	瘤Ⅳ?	◎	◎	◎	◎	◎	◎	一欠	21.2	△	割口	◎	クラック	段丘	拠点	県教 17a→215-1	首脚黒付→★接合復元。磨消縄文。註10	
4832	青	川原平(1)	小遼?	~C1?	△	○	△	○	○	不明	4.1					クラック	段丘	拠点	県教 17a→215-2	頭欠損? 首裁痕列。手B突起。沈線文	
4833	青	川原平(1)	大遼	BC2?		○	◎	◎	○	3/5	11.2				腕中実	東捨	段丘	拠点	県教 17b→31-1	★尻貫通孔。磨消縄文(山字)。背中二段?	
4834	青	川原平(1)	後期以来?	~B2	○					不明	5.2	○	割口		首管孔	東捨	段丘	拠点	県教 17b→31-2	首黒付。眉弧状。側頭~後頭突起列	
4835	青	川原平(1)	大遼	~BC2	△					小片	6.3				中空	東捨	段丘	拠点	県教 17b→31-3	下と同一個体? 首点列? 後頭縄文	
4836	青	川原平(1)	大遼	~BC2	△					小片	3.8				中空	東捨	段丘	拠点	県教 17b→31-4	上と同一個体?	
4837	青	川原平(1)	小遼??	C1?		○	◎	◎	○	2/3	6.7	△			◎	東捨	段丘	拠点	県教 17b→31-5	正中線パンツ。屈折腰B類祖形?	
4838	青	川原平(1)	後期以来?	~B1?		部	位	不	明		小片	8				輪積中空	東捨	段丘	拠点	県教 17b→31-6	写真無。胴? 縄文地沈線文。裏面凹凸
4839	青	川原平(1)	?	後期?		?					小片	2				東捨	段丘	拠点	県教 17b→31-7	「肩」	
4840	青	川原平(1)	後期以来?	後期?		◎	◎	△	不明		3	○				線	東捨	段丘	拠点	県教 17b→31-8	正中隆帯。腰隆帯
4841	青	川原平(1)	?	不明		部	位	不	明		小片	3.6				中空	東捨	段丘	拠点	県教 17b→31-9	「胸」。貼付。二重弧線
4842	青	川原平(1)	後期以来?	後期?						?	小片	2.2				東捨	段丘	拠点	県教 17b→32-10	小型無文土偶?	
4843	青	川原平(1)	後期以来?	後期?		部	位	不	明		小片	3.3				東捨	段丘	拠点	県教 17b→32-11	「腰部」。縄文地多重線	
4844	青	川原平(1)	屈折像A?	後期?		?					小片	8.8				輪積中空	東捨	段丘	拠点	県教 17b→32-12	「推定40cm」。縄文地沈線文。乳剥落?
4845	青	川原平(1)	x字×小遼	C2?		◎	◎	◎	△	◎	7/10	6.3				東捨	段丘	拠点	県教 17b→32-13	表裏対向△掘去。腰B突起。「精製」	
4846	青	川原平(1)	小遼??	BC?		△			○		小片	4				東捨	段丘	拠点	県教 17b→32-14	後期以来? 蔓状文	
4847	青	川原平(1)	後期以来	後期?	◎	○	△		△	不明	5.3					東捨	段丘	拠点	県教 17b→32-15	羊角状耳。弧状眉貼付。無文?	
4848	青	川原平(1)	後期以来?	後期?			○	○	△	不明	3.4					肛門管孔	東捨	段丘	拠点	県教 17b→32-16	がに股。無文?
4849	青	川原平(1)	後期以来	B1?		部	位	不	明		不明	4.7				東捨	段丘	拠点	県教 17b→32-17	表裏文様。魚眼状文変形	
4850	青	川原平(1)	屈折像A?	不明			?			不明	5					東捨	段丘	拠点	県教 17b→32-18	「右腕」。無文?	
4851	青	川原平(1)	後期以来?	後期?			△	△	◎	不明	6.5				脚中実	線	東捨	段丘	拠点	県教 17b→33-19	正中隆帯刺突跡も
4852	青	川原平(1)	後期以来?	後期?						△	小片	2				東捨	段丘	拠点	県教 17b→33-20	土偶? 「右腕」。無文?	
4853	青	川原平(1)	屈折像A	~後末			○	○	○	不明	8	◎		5028 類例	◎	東捨	段丘	拠点	県教 17b→33-21	正中? ▼貼付「男性器」。背入組文?	
4854	青	川原平(1)	後期以来	後期?			○			不明	4.6					線	東捨	段丘	拠点	県教 17b→33-22	正中平行線。背中文様類例註11
4855	青	川原平(1)	?	後期?		△					小片	2				東捨	段丘	拠点	県教 17b→33-23	左肩。大遼のようなV字隆帯。焼成良好	
4856	青	川原平(1)	後期以来?	後期?		?				不明	5					東捨	段丘	拠点	県教 17b→33-24	二重弧線?	
4857	青	川原平(1)	後期以来?	後期?		部	位	不	明		不明	6.6				中空	北東	段丘	拠点	県教 17b→97-1	「肩」。磨消縄文?
4858	青	川原平(1)	「土偶か」	後期?	?	?				不明	5					「手づくね」	北東	段丘	拠点	県教 17b→97-2	粗雄。無文
4859	青	川原平(1)	x字×小遼	C2?		◎	◎	◎	○	2/3	6	漆				北東	段丘	拠点	県教 17b→97-3	肉彫的裝飾。腰B突起。背対向△	
4860	青	川原平(1)	?	不明						?	小片	2.8				割口	北東	段丘	拠点	県教 17b→97-4	「脚?」。両端に黒付。無文
4861	青	川原平(1)	後期以来?	B1???	△	◎			◎	不明	3.5						北東	段丘	拠点	県教 17b→97-5	小遼系統? 「頭平坦面状」。三叉文?
4862	青	川原平(1)	大遼	BC2?				△		○	1/9	7				中空	北東	段丘	拠点	県教 17b→97-6	部位境裁痕列。脚長め
4863	青	川原平(1)	?	不明		部	位	不	明		不明	5.6					北東	段丘	拠点	県教 17b→97-10	「肩」。縄文地三叉文?
4864	青	川原平(1)	後期以来?	後期?							不明	6.8	○	割口		バ	北東	段丘	拠点	県教 17b→97-11	脚に黒付。パンツ区画内縄文
4865	青	川原平(1)	後期以来?	後期?			?	?		不明	9.4	★					北東	段丘	拠点	県教 17b→97-18	「側縁」。赤色顔料土白色顔料。磨消縄文
4866	青	川原平(1)	大遼系統	C2Ⅳ?				△	○	1/9	6.4					中空	東延	段丘	拠点	※121/183-10	腰縄文地沈線文。爪先刻目列
4867	青	川原平(1)	後期以来	後末	◎	◎	◎	◎	◎	4/5	15.8					線	東延	段丘	拠点	※121/183-11	正中区画内刻突。口両脇弧線。眉弧状
4868	青	川原平(1)	大遼	C1新?	○						小片	5.3	○			中空	東延	段丘	拠点	※126/192-12	C2古? 顔縄文。頭頂4孔突起めぐる
4869	青	川原平(1)	小遼?	BC2?	○						小片	4.9				中空	北東延	段丘	拠点	※126/192-13	大遼模倣。首中実? 後頭部羊歯状文
4870	青	川原平(1)	結髪(組)	A1?	?	○	◎	◎	○	不明	12.5	△			?		北捨	段丘	拠点	県教 17c→22-1	摩滅。正中沈線? パンツ内刺突。多重円
4871	青	川原平(1)	後期以来	後期?						△	小片	3.8					北捨	段丘	拠点	県教 17c→22-2	爪先突出刻目3
4872	青	川原平(1)	?	不明		△					小片	2.2					北捨	段丘	拠点	県教 17c→22-3	乳房
4873	青	川原平(1)	後期以来	後末?		△			○		小片	5					北捨	段丘	拠点	県教 17c→22-4	いかり肩。摩滅?
4874	青	川原平(1)	土偶?	不明		部	位	不	明		不明	5					北捨	段丘	拠点	県教 17c→22-5	「てづくね土偶」
4875	青	川原平(1)	小遼?	不明						?	小片	3.4					北捨	段丘	拠点	県教 17c→22-6	「右手」。足との境沈線
4876	青	川原平(1)	?	後期?						?	小片	3.6					北捨	段丘	拠点	県教 17c→22-7	「足」。横位沈線と刺突列
4877	青	川原平(1)	後期以来?	後期?		?					不明	2.7					北捨	段丘	拠点	県教 17c→22-8	「腕」。いかり肩? 摩滅。縄文地沈線
4878	青	川原平(1)	大遼系統?	C2古?					△		小片	3.5				中空	北捨	段丘	拠点	県教 17c→22-9	写真無。隆帯上縄文。C字文
4879	青	川原平(1)	後期以来?	後期?						?	小片	2.9					北捨	段丘	拠点	県教 17c→22-10	「左手」。途中円く突出。縄文地沈線
4880	青	川原平(1)	大遼??	前葉?			?				小片	3.2				中空	北捨	段丘	拠点	県教 17c→22-11	背中破片? 磨消縄文
4881	青	川原平(1)	大遼?	C1古?					△		小片	2.5				中空	北捨	段丘	拠点	県教 17c→22-12	縄文地水平沈線、三叉文
4882	青	川原平(1)	大遼	C1古?	△						小片	2.5	漆			中空	北捨	段丘	拠点	県教 17c→22-13	目。水平沈線下に縄文
4883	青	川原平(1)	大遼??	不明?		?					小片	4.2				中空	北捨	段丘	拠点	県教 17c→22-14	後頭部? 「左肩」。貼付。磨消縄文。入組文
4884	青	川原平(1)	大遼系統?	C2古?			?				小片	4.3				中空	北捨	段丘	拠点	県教 17c→22-15	腹裏? 縄文地入組文
4885	青	川原平(1)	後期以来	B1	○						1/10	7.3	○			口管孔	北捨	段丘	拠点	県教 17c→23-16	弧状眉。頸弧状区画。縄文。耳貫通孔
4886	青	川原平(1)	土偶?	不明?		?					不明	4.4					北捨	段丘	拠点	県教 17c→23-17	「てづくね土偶。目口を刺突」
4887	青	川原平(1)	後期以来	B1?	○						1/9	6.4				割口	北捨	段丘	拠点	県教 17c→23-18	首に黒付。弧状眉。後頭部結髪粘土
4888	青	川原平(1)	?	不明		△					不明	3.8					北捨	段丘	拠点	県教 17c→23-19	「右胸。乳房剥落」。無文
4889	青	川原平(1)	土偶?	不明							不明	3.5					クラック	段丘	拠点	県教 17c→23-20	土器突起? 「下半身」。縄文
4890																					

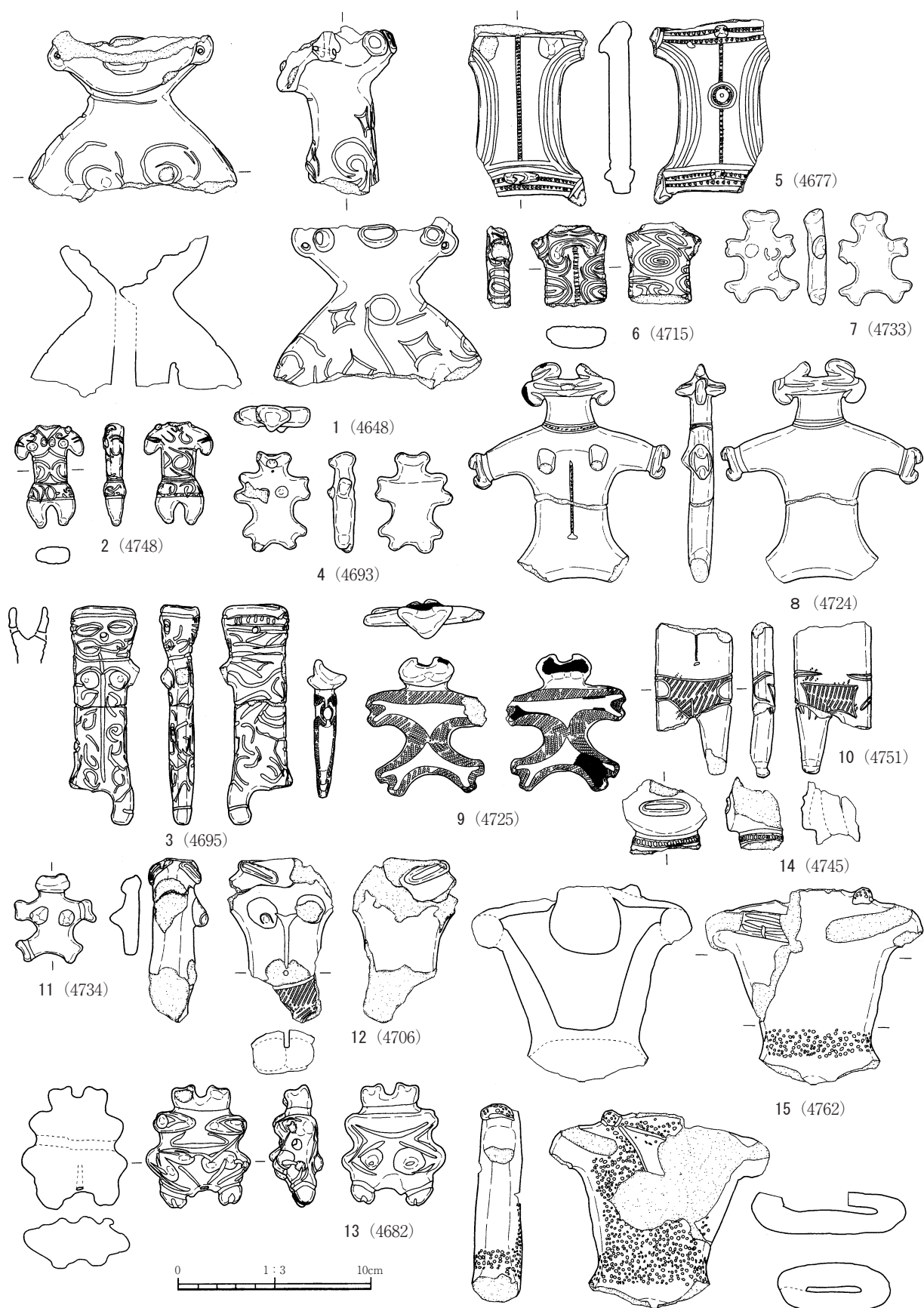
No.	県	遺跡名	形態	時期	部位					残存率	現長 cm	接合 赤黒	付着物	つくり (製作痕)	女性	出土 位置	遺跡		掲載箇所	備考	
					頭	胸	腹	腰	腕								脚	立地			評価
4908	青	川原平(1)	大遼	BC1?	△					1/9	6.5		中空			北捨	段丘	拠点	県教17c→26-40	内面粘土接合痕管孔? 磨消縄文(方形)	
4909	青	川原平(1)	大遼	C1新?	○	○	○	○	○	7/10	26.5	△	◎	腕中実		西捨	段丘	拠点	県教17d→70-1	表裏胴上下区画線無。磨消縄文	
4910	青	川原平(1)	大遼	BC2?	○					1/8	10.8		◎	中空?		西捨	段丘	拠点	県教17d→71-2	焼成良好。首文様三段。後頭縄文	
4911	青	川原平(1)	大遼	BC2?	○					1/10	13			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→72-3	頭頂突起。頸線緑3。縄文	
4912	青	川原平(1)	大遼	C1古?	△					小片	7.3		◎	中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→72-4		
4913	青	川原平(1)	獣面大遼	C1新?	○	○	△		○	1/5	14.5	△	◎	腕中実		西捨	段丘	拠点	県教17d→73-5	★額に獣面? 磨消縄文。粗雑?	
4914	青	川原平(1)	大遼	C1古?		△				小片	2.8			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→73-6	写真無。背中首下? 磨消縄文(山字文)	
4915	青	川原平(1)	大遼	～C1古						小片	3.8			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→73-7	後頭部。縄文地蛇行沈線。焼成良好	
4916	青	川原平(1)	大遼	前葉?				?		小片	1.4			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→73-8	「首」股? 磨消縄文施文城端	
4917	青	川原平(1)	大遼	～C1	△					小片	2			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→73-9	写真無。遮光器眼	
4918	青	川原平(1)	大遼	～C1古				?		小片	3.4			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→74-10	「頭裏」背中腰? 裁痕列。沈線文	
4919	青	川原平(1)	大遼	～C1				?		小片	3			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→74-11	写真無。「頭」肩? 磨消縄文(広斜文)	
4920	青	川原平(1)	大遼	BC2?	△					細片	2.4					西捨	段丘	拠点	県教17d→74-12	頭頂突起。裁痕列。B突起	
4921	青	川原平(1)	大遼	BC2?					△	小片	4.3			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→74-13	手。突起陰刻	
4922	青	川原平(1)	大遼	C1古?	△		△	○		1/7	8.4	△		中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→74-14	磨消縄文(山字文3段以上)。裁痕列	
4923	青	川原平(1)	大遼	～C1古		△				小片	3			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→74-15	胸。乳房周囲裁痕列。磨消縄文	
4924	青	川原平(1)	大遼	B C				?		小片	4.8			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→74-16	腰?後頭部? 磨消縄文	
4925	青	川原平(1)	大遼	BC2?			△		△	小片	7.8	△		中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→75-17	写真無。下腹。磨消縄文。刺突列	
4926	青	川原平(1)	大遼	BC2?					○	1/5	12			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→75-18	★下腹貫通孔。磨消縄文(文様はC1?)	
4927	青	川原平(1)	大遼?	BC?		△	△	△		小片	7.2			輪積中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→75-19	写真無。磨消縄文。裁痕列。★胎土分析	
4928	青	川原平(1)	大遼	～C1古				△		小片	2.7			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→75-20	下腹? 渦巻意匠裁痕列。縄文	
4929	青	川原平(1)	大遼系統?	～C2古				△		小片	3.8			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→75-21	腰? 刻目隆帯2条上突起貼付	
4930	青	川原平(1)	大遼	C1古					○	1/6	12.2	△	○	中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→76-22	部位境裁痕列。磨消縄文(広斜文)。脚短	
4931	青	川原平(1)	大遼	BC1?	△					小片	6.3		○	中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→76-23	弧状肩～鼻貼付。口貫通	
4932	青	川原平(1)	大遼系統	A1	△					小片	4					西捨	段丘	拠点	県教17d→76-24	「漆液容器」。写真無。後頭工字文	
4933	青	川原平(1)	土器?	BC2?						小片	3.2			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→76-25	大遼?注口土器? 裁痕列	
4934	青	川原平(1)	大遼	C1古?		△			○	1/7	9.4			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→77-26	磨消縄文。腕短い。手突起単純陰刻	
4935	青	川原平(1)	小遼	C1古?	○					不明	3.6					西捨	段丘	拠点	県教17d→77-27	目横線無。後頭部剥落?	
4936	青	川原平(1)	大遼	C1?	△					小片	7.8		○	輪積中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→77-28		
4937	青	川原平(1)	後期以来	B1?	○	○				1/5	9.6			割口	中空	線	西捨	段丘	拠点	県教17d→77-29	肩黒付。正中隆帯。眉弧。口貫通。胴茎文
4938	青	川原平(1)	土偶?	不明					不明	小片	4.5			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→77-30	「首」。写真無	
4939	青	川原平(1)	土偶?	不明					不明	小片	3.9			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→77-31	「体」。沈線。刺突?	
4940	青	川原平(1)	大遼	C1古?					?	細片	2			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→77-32	「首」腕? 裁痕列と接して縄文帯(刺突列)	
4941	青	川原平(1)	後期以来	B1?	◎	◎	○		△	1/3	14			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→78-33	仮面状。弧状眉。後頭透彫。磨消縄文	
4942	青	川原平(1)	大遼系統	A1?	◎	○			△	1/4	8			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→78-34	後頭貫通孔。首下工字文。貼付鼻上方	
4943	青	川原平(1)	大遼もどき?	A1?	◎	◎	◎	◎	△	4/5	15.5	△	○			西捨	段丘	拠点	県教17d→78-35	写真無。Y字肩貼付。背中平行線	
4944	青	川原平(1)	?	後期?						不明	3.6					西捨	段丘	拠点	県教17d→78-36	赤褐色。「胸盾土偶の足」。無文	
4945	青	川原平(1)	後期以来?	B1?	△	△				小片	10	△		中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→79-37	胴磨消縄文。三叉文	
4946	青	川原平(1)	大遼?	前葉?					?	細片	3.5			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→79-38	「肩」腕? 写真無。点列。類例1096	
4947	青	川原平(1)	大遼?	BC2?		△				細片	1.2			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→79-39	肩? 円形瘤状突起。首羊歯状文?	
4948	青	川原平(1)	大遼?	BC1?	△					小片	6.7			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→79-40	写真無。縄文	
4949	青	川原平(1)	大遼	BC2?		△				小片	5.2			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→79-41	左肩。部位境裁痕列。突起	
4950	青	川原平(1)	土偶?	不明					不明	不明	5.8			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→79-42	「体部」。文様	
4951	青	川原平(1)	大遼?	前葉?					不明	小片	3.9			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→79-43	「体部」。山字文?	
4952	青	川原平(1)	土偶?	前葉?					不明	小片	6.6			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→79-44	「体部」。文様多段	
4953	青	川原平(1)	大遼?	不明					不明	小片	3.3			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→79-45	「体部」。段→腕? 腰? 文様	
4954	青	川原平(1)	大遼?	～C1古					?	小片	4.8			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→79-46	写真無。「体部」脇腹? 裁痕列渦巻?	
4955	青	川原平(1)	大遼	C1新?	△	△				1/6	5.8			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→80-47	首無文。乳房の周りに裁痕列無。磨消縄文	
4956	青	川原平(1)	大遼	～C1古					?	細片	3			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→80-48	「肩」股? 写真無。縄文。部位境裁痕列	
4957	青	川原平(1)	大遼?	～C1		?				細片	2.8			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→80-50	肩? 二条隆帯刻目列	
4958	青	川原平(1)	大遼?	前葉?					?	細片	3.2			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→80-51	「右肩」下腹? 刺突多。文様	
4959	青	川原平(1)	大遼?	前葉?					?	小片	4.5			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→80-52	脚の付け根? 刺突多	
4960	青	川原平(1)	大遼	前葉?		?				細片	2.5			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→80-53	肩。磨消縄文(山字文?)	
4961	青	川原平(1)	大遼	C1新?	○					小片	5.8			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→80-54	胸。摩滅。磨消縄文? 乳房周囲裁痕無	
4962	青	川原平(1)	大遼	～C1	△					細片	3.5			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→80-55	胸?図天地逆? 裁痕列。磨消縄文(ノ字)	
4963	青	川原平(1)	大遼	不明					不明	細片	4.3			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→80-56	写真無。「体部」。文様。★胎土分析	
4964	青	川原平(1)	大遼?	前葉?					不明	細片	3.4			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→80-57	「体部」。磨消縄文	
4965	青	川原平(1)	大遼??	不明					?	小片	2.8			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→80-58	「肩～首」股?。無文	
4966	青	川原平(1)	大遼	BC2?		△	△			小片	8.8	○		中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→81-59	右脇腹。磨消縄文	
4967	青	川原平(1)	大遼	～C1古		△				細片	1.6			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→81-60	首～肩。首下隆帯点列。縄文	
4968	青	川原平(1)	大遼	C1?		△				細片	1.8			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→81-61	乳。写真無	
4969	青	川原平(1)	大遼	BC2		△				小片	5.4	△		中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→81-62	胸。首途中乳房周囲裁痕列。磨消縄文	
4970	青	川原平(1)	大遼	～C1		△				小片	2.3			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→81-63	肩。磨消縄文	
4971	青	川原平(1)	土偶?	不明					不明	小片	2.2			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→81-64	「体部」後期前葉土器片? 方形区画	
4972	青	川原平(1)	後期以来?	後末?		?				小片	3.8			中空		西捨	段丘	拠点	県教17d→81-65	「右肩」注口土器? 刻目帯弧	
4973	青	川原平(1)	大遼	BC2?																	

No.	県	遺跡名	形態	時期	部位					残存率	現長 cm	接合 赤 黒	付着物	つくり (製作痕)	女性	出土 位置	遺 跡		掲載箇所	備 考
					頭	胸	腹	腰	腕								立地	評価		
4990	青	川原平(1)	大遼	前葉						細片	3.4			中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 83-83	「肩」腰上? 磨消縄文(方形文)
4991	青	川原平(1)	大遼	C1 古?		△			○	小片	4.6			中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 83-84	裁痕列。腕短い。手円形突起
4992	青	川原平(1)	大遼	B C		△				小片	2.5			中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 83-85	「脚」首? 裁痕列縦にB突起
4993	青	川原平(1)	?	不明			?			細片	1.5			中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 83-86	「肩」。縄文
4994	青	川原平(1)	大遼系統?	C 2 ?					△	小片	5			中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 83-87	脚。写真無。無文
4995	青	川原平(1)	大遼?	BC2 ?		△	△			小片	6.5			中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 84-88	首裁痕列? 肩隆帯刺突列。粘土接合痕
4996	青	川原平(1)	大遼?	～C 1 ?				?		小片	5			輪積中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 84-89	写真無。磨消縄文。指頭圧痕★胎土分析
4997	青	川原平(1)	大遼系統?	C2 V ?					△	小片	5.6			中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 84-90	磨消縄文地沈線文。脚と足の間沈線
4998	青	川原平(1)	大遼系統?	C 2 ?					○	1/7	5			中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 84-91	足底くぼむ
4999	青	川原平(1)	大遼	C1 古?					△	小片	5.7			中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 84-92	脚短い。部位境裁痕列
5000	青	川原平(1)	大遼	～C1 古					△	小片	7.3			中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 84-93	腰との境裁痕列
5001	青	川原平(1)	?	不明			?			細片	2			中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 84-94	「右肩」。無文
5002	青	川原平(1)	?	不明				部 位	不 明	小片	1			中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 84-95	「脚」胴? 墓状文
5003	青	川原平(1)	大遼	BC2 ?				△	△	○	1/6	11.2	△	中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 84-96	写真無。部位境裁痕列。
5004	青	川原平(1)	大遼	前葉					△	△	小片	6		中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 85-97	磨消縄文。部位境裁痕列
5005	青	川原平(1)	大遼系統	C2 前半					△	○	1/6	6.3		中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 85-98	股水平刻目隆帯2条。焼成良好
5006	青	川原平(1)	大遼?	前葉?					?	小片	5.8			中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d → 85-99	「右脚」。脚にも縄文? 裁痕列?
5007	青	川原平(1)	大遼?	前葉?					△	小片	5.6			中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d85-100	脚の途中隆帯点列? → 1096 類例?
5008	青	川原平(1)	大遼	前葉?				?		細片	4.5			中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d85-101	写真無。背中破片? 磨消縄文(入組文)
5009	青	川原平(1)	大遼	前葉					△	小片	6.3			中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d85-102	脚長い。無文。足裏楕円形
5010	青	川原平(1)	大遼	前葉					△	小片	5.2			中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d85-103	脚長い。無文。足裏楕円形?
5011	青	川原平(1)	?	不明						細片	4			中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d85-104	写真無。「肩」。精製。文様
5012	青	川原平(1)	大遼	～C 1		△	△			細片	1.4			中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d85-105	写真無。肩。磨消縄文。首下部無文
5013	青	川原平(1)	大遼	～C1 古					△	△	小片	5.7		中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d86-106	部位境裁痕列
5014	青	川原平(1)	大遼系統?	～A1						△	小片	3.3		中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d86-107	
5015	青	川原平(1)	土偶?	不明				部 位	不 明	細片	2.4			中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d86-108	「腰」。無文
5016	青	川原平(1)	大遼系統	C2 中～						△	小片	5		中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d86-109	足裏卵形?
5017	青	川原平(1)	小遼	～C1 古		△				○	小片	3.2				西捨	段丘	拠点	県教 17d86-110	部位境裁痕列。手B突起
5018	青	川原平(1)	大遼?	前葉?				部 位	不 明	小片	4.8			中空?		西捨	段丘	拠点	県教 17d86-111	写真無。下腹? 貫通孔? 刺突。精製
5019	青	川原平(1)	大遼	～C 1				部 位	不 明	小片	3.6			中空?		西捨	段丘	拠点	県教 17d86-112	写真無。磨消縄文。[体部。精製]
5020	青	川原平(1)	大遼系統	C2 前半					△	○	1/6	6		中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d86-113	腰断続沈線
5021	青	川原平(1)	土偶?	不明				部 位	不 明	細片	2.7			中空?		西捨	段丘	拠点	県教 17d86-114	写真無。[体部]
5022	青	川原平(1)	x 字形?	C 2 ?		○	◎	○	△	△	2/5	3.5		小型板状	線	西捨	段丘	拠点	県教 17d86-115	正中線系列。正中刺突列。乳間平行線
5023	青	川原平(1)	大遼系統?	A1 ?			?				小片	2.8	●			西捨	段丘	拠点	県教 17d86-116	図天地逆? 頭頂突起? 又。表裏瘤突起
5024	青	川原平(1)	結髪?	A1 ?		○	○			○	1/8	5				西捨	段丘	拠点	県教 17d86-117	乳房隆帯。首飾り状沈線。背中刺突
5025	青	川原平(1)	?	不明				部 位	不 明	小片	5.6					西捨	段丘	拠点	県教 17d86-118	写真無。[体部]。磨消縄文
5026	青	川原平(1)	?	不明				部 位	不 明	小片	3.8			輪積中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d86-119	写真無。[体部。精製]
5027	青	川原平(1)	大遼??	C 1 ?		○					1/9?	3.5		中空		西捨	段丘	拠点	県教 17d86-120	摩滅。小遼?
5028	青	川原平(1)	屈折像A	瘤IV	○	◎	◎	◎		○	7/9	21.4	○			西捨	段丘	拠点	県教 17d87-121	弧状肩。正中Y字隆帯。註12
5029	青	川原平(1)	後期以来	後後?	◎						1/7	6.3	漆 割口			西捨	段丘	拠点	県教 17d87-122	首黒付。顔小判形。後頭結髪。眉鼻T字
5030	青	川原平(1)	後期以来	後後?						△	小片	4.3				西捨	段丘	拠点	県教 17d87-123	脚? 爪先刻目列。文様
5031	青	川原平(1)	後期以来	後後?	○						1/8	4.5	割口	口管孔		西捨	段丘	拠点	県教 17d87-124	後頭黒付。顔楕円形。眉鼻Y字。耳貫通孔
5032	青	川原平(1)	小型無文	不明	○	◎	◎	◎	◎	◎	一欠	6.3				西捨	段丘	拠点	県教 17d87-125	顔鼻のみ(鼻腔)
5033	青	川原平(1)	後期以来	B1 ?		◎	◎	◎	◎	◎	2/3	8	○ 割口		◎	西捨	段丘	拠点	県教 17d88-126	正中沈線。ハ。背面入組文三叉文。註13
5034	青	川原平(1)	後期以来	後後?		○	◎				3/5	6.5				西捨	段丘	拠点	県教 17d88-127	首～股に貫通孔。無文
5035	青	川原平(1)	後期以来	後後?		○	◎	◎			3/5	7.5			線	西捨	段丘	拠点	県教 17d88-128	正中～腰趾T字隆帯上縄文
5036	青	川原平(1)	後期以来	～B1 ?		△	△			○	1/9	4				西捨	段丘	拠点	県教 17d88-129	首V字隆帯刻目列。肩三叉文?
5037	青	川原平(1)	小遼	C 1 ?		○	◎	○	◎	◎	4/5	15.7	△			西捨	段丘	拠点	県教 17d88-130	写真上半身のみ。正中刺突列。肛門管孔
5038	青	川原平(1)	小遼	～C1 古			△	△		○	1/5	6.2				西捨	段丘	拠点	県教 17d88-131	肩張単足系列。裁痕列
5039	青	川原平(1)	後期以来?	後後?		△	◎				3/10	2.5			線	西捨	段丘	拠点	県教 17d88-132	正中沈線? 背中央沈線文
5040	青	川原平(1)	刺突文祖形?	A1 ?		○	○	△	○		1/2	8.5		線		西捨	段丘	拠点	県教 17d88-133	正中沈線。肩瘤。背中隆帯上沈線
5041	青	川原平(1)	後期以来	後後?			○	○			1/4	5.8	◎		●	西捨	段丘	拠点	県教 17d89-134	正中沈線刺突。パンツ、▼短沈線、腹部膨
5042	青	川原平(1)	後期以来?	後後?						△	小片	3				西捨	段丘	拠点	県教 17d89-135	足先突出
5043	青	川原平(1)	後期以来	後後?						?	不明	5.5		「中空」?		西捨	段丘	拠点	県教 17d89-136	屈曲するクラク状。爪先刻目列。腕?
5044	青	川原平(1)	後期以来	後後?			○	◎		○	不明	4.6			線	西捨	段丘	拠点	県教 17d89-137	正中沈線
5045	青	川原平(1)	後期以来	後後?						?	不明	4.7				西捨	段丘	拠点	県教 17d89-138	「左手」脚? 途中平行沈線
5046	青	川原平(1)	後期以来	後後?			◎	○		○	1/4	3			線	西捨	段丘	拠点	県教 17d89-139	正中、文様刺突列。背中入組文
5047	青	川原平(1)	後期以来	後後?			○	○			不明	6.3			線	西捨	段丘	拠点	県教 17d89-140	正中刺突列。正面剥落
5048	青	川原平(1)	後期以来?	後後?			○	○		○	不明	4.2			線	西捨	段丘	拠点	県教 17d89-141	表刺突列(正中ほか)。裏沈線文
5049	青	川原平(1)	結髪もどき?	A1 ?			○	◎	◎	◎	4/5	12.5	△	「中空」?	◎	西捨	段丘	拠点	県教 17d89-142	正中沈線パンツ内縄文。腰脇多重円
5050	青	川原平(1)	刺突文祖形?	A1 ?						△	不明	6				西捨	段丘	拠点	県教 17d90-143	足裏楕円形。脚途中多重平行線
5051	青	川原平(1)	後期以来	後後?			○	◎		◎	不明	2.4				肛門管孔	線	拠点	県教 17d90-144	正中刺突列。摩滅
5052	青	川原平(1)	土偶?	不明					?	不明	1.4					西捨	段丘	拠点	県教 17d90-145	途中貫通孔。裝飾品?
5053	青	川原平(1)	後期以来	後後?		△			△	不明	6.6					西捨	段丘	拠点	県教 17d90-146	肩、十腰内Ⅱ式の帯縄文刺突列
5054	青	川原平(1)	x 字×小遼	C 2 ?		◎	◎	◎	◎	◎										

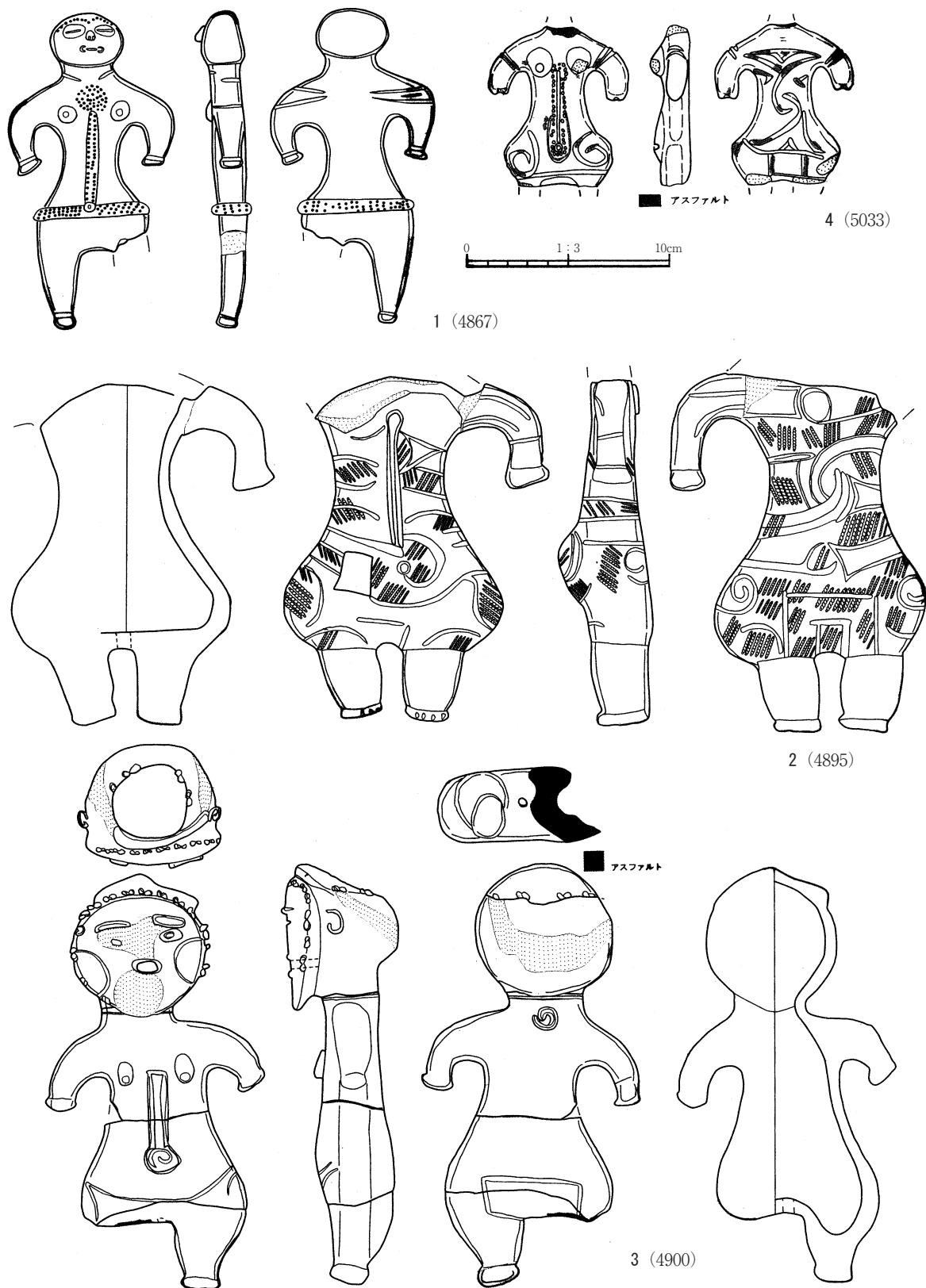
No.	県	遺跡名	形態	時期	部位						残存率	現長 cm	接合 赤黒	付着物	つくり (製作痕)	女性	出土 位置	遺跡		掲載箇所	備考
					頭	胸	腹	腰	腕	脚								立地	評価		
5072	青	川原平(4)	大遼系統?	C2古?	△						小片	4	○	中空				段丘	拠点	県教16→148-1	眉弧。貼付遮光器眼。縄文。晩期初頭?
5073	青	川原平(4)	結髪	A1?	○	○	△				1/4	13	○	中空	線			段丘	拠点	県教16→187-1	摩滅剥落。正中沈線。脇腹対向弧線
5074	青	川原平(4)	?	不明							小片	3.6		芯棒痕				段丘	拠点	県教16→187-2	「脚」。刺突
5075	岩	中村	刺突文	A'古?	△						小片	1.6		下と同一?				堤防	拠点	県埋17→c1	右肩。背中肩パットを繋ぐ刺痕列?縄文
5076	岩	中村	刺突文	A'古?	△						小片	1.9		上と同一?				堤防	拠点	県埋17→c2	頭頂突起。刺痕列?間刺突多
5077	岩	中村	結髪?	A2～?	?						細片	2.6						堤防	拠点	県埋17→c3	「結髪部破片」。多重沈線。刻目列
5078	岩	千苧	結髪	A'古?	○	○	○	△	△		3/5	13.8	△	○		◎		堤防	拠点	県埋16→d1	正中刺痕列/パンツ内短沈線。背竹管刺突
5079	岩	千苧	結髪	A1?	◎						1/6	2.4						堤防	拠点	県埋16→d2	小型。結髪に透かし。目短沈線
5080	岩	千苧	結髪	A1～	○						1/9	4		中空				堤防	拠点	県埋16→d3	眉鼻独立。眉一状貼付。頭刺突
5081	岩	千苧	結髪	A1～	○						1/9	5.8		中空				堤防	拠点	県埋16→d4	顔剥落。二次被熱により一部黒色化
5082	岩	千苧	結髪	A1?	○						1/8	3.4						堤防	拠点	県埋16→d5	摩滅。耳貫通孔。頭刺目隆帯3列
5083	岩	千苧	結髪	A1?	△						小片	2.3						堤防	拠点	県埋16→d6	結髪破片。透かし彫り。端竹管状刺突
5084	岩	千苧	結髪	A2?	△	◎	◎	○	△		3/5	15	○	胴中空		◎		堤防	拠点	県埋16→d7	正中沈線▼短沈線。調整丁寧。乳房文様
5085	岩	千苧	結髪	A2～?	△	△					小片	3.6		輪積中空				堤防	拠点	県埋16→d8	背中破片。沈線挟んで断続沈線
5086	岩	千苧	刺突文祖形?	～A2?	△	△					不明	10		輪積中空				堤防	拠点	県埋16→d9	背中破片。上方刺突。下方縄文
5087	岩	千苧	結髪	A2～?	△	△					1/8	8		輪積中空				堤防	拠点	県埋16→d10	背中破片。粗雑沈線。背中疎大円文列
5088	岩	千苧	結髪	A2～?	△	△	△				小片	4.3		中空	バ?			堤防	拠点	県埋16→d11	図天地逆? 臍貼付。パンツ?内刺突
5089	岩	千苧	結髪	A'	△						小片	4.8		中空	線			堤防	拠点	県埋16→d12	正中沈線。乳房形貼付肩へ帯文様
5090	岩	千苧	結髪	A1					○		1/9	5.3	△	中空	バ			堤防	拠点	県埋16→d13	パンツ内刺突。爪先刻目列6。註15
5091	岩	千苧	刺突文祖形?	～A2?	△	△					小片	5.8		中空				堤防	拠点	県埋16→d14	右胸腹。乳房円形貼付小。縄文
5092	岩	千苧	結髪	A1		△	△				小片	4.5		中空	バ			堤防	拠点	県埋16→d15	パンツ内刺突。多重線
5093	岩	千苧	結髪	A1?			△				小片	2.5		中空	バ			堤防	拠点	県埋16→d16	パンツ内縄文。多重線
5094	岩	千苧	刺突文?	A'～?					△		小片	2.5		中空				堤防	拠点	県埋16→d17	脚と足の境平行線
5095	岩	千苧	刺突文??	A'～?					△		小片	1.4		中空				堤防	拠点	県埋16→d18	爪先短沈線の後ろ平行線
5096	岩	千苧	結髪	～A'古?	◎	◎	◎	△	◎		7/10	7.4		肛門?孔	線			堤防	拠点	県埋16→d19	小型。正中刺痕列。背中貼付列と沈線
5097	岩	千苧	結髪	A2～?		△	○				3/10	5.3			線			堤防	拠点	県埋16→d20	正中沈線。摩滅。腹剥落
5098	岩	千苧	結髪	A1～	△	○	◎	◎	◎		不明	8.8			◎			堤防	拠点	県埋16→d21	小型。正中刺痕列▼文様。脇腹対向弧線
5099	岩	千苧	結髪	A1～			○	○			不明	4.3			◎			堤防	拠点	県埋16→d22	正中刺痕列、股間深い短沈線。腰刺突
5100	岩	千苧	結髪	A1～		△	△				小片	3.9						堤防	拠点	県埋16→d23	背中6字文。肩、脇腹刺突
5101	岩	千苧	刺突文	A'古～	○						1/10	6		中空				堤防	拠点	県埋16→d24	全体摩滅。頭頂突起多重線。頸弧線区画
5102	岩	千苧	刺突文	末前後	○						不明	4.8	○					堤防	拠点	県埋16→d25	頭頂二又突起。耳貫通孔。頬平行線
5103	岩	千苧	刺突文	A'新?	△						小片	5.2		中空?				堤防	拠点	県埋16→d26	A2?左肩。背中肩パット長い。正面縄文
5104	岩	千苧	刺突文	A'古～	△						小片	1.8		中空				堤防	拠点	県埋16→d27	肩突起。刺突。縄文
5105	岩	千苧	刺突文	A'古～	△						小片	3						堤防	拠点	県埋16→d28	右肩。腕割口ソケット状。背中三本沈線
5106	岩	千苧	刺突文?	末前後			△		△		不明	5.2	△	中空				堤防	拠点	県埋16→d29	脚下方まで刺突。腰沈線文
5107	岩	千苧	刺突文	末前後	◎	◎	△				不明	14.1		大形板状	線			堤防	拠点	県埋16→d30	正中沈線。背中菱形意匠文。「脚表現無」
5108	岩	千苧	結髪?	不明	△						不明	2.2						堤防	拠点	県埋16→d31	鼻貼付(鼻孔)。目凹線
5109	岩	千苧	刺突文?	末前後						○	不明	4.6						堤防	拠点	県埋16→d34	足と脚の間に沈線。
5110	岩	千苧	?	不明						?	不明	1.8		割口				堤防	拠点	県埋16→d35	脚黒付。脚多重水平線。小型刺突文土偶?
5111	岩	千苧	装身具?	不明	◎	◎	◎	◎	◎	◎	9/10	2.9						堤防	拠点	県埋16→d36	ひとがた。無文。頭横貫通孔
5112	岩	千苧	結髪変形?	～谷起島	?				?		不明	4.3						堤防	拠点	県埋16→d54	乳刺突? 無文?
5113	岩	千苧	結髪	A1～	△						細片	1.8						堤防	拠点	県埋16→d55	結髪部分破片。「吸盤状突起」多
5114	岩	杉の堂	大遼?	～C1古	△						小片	3		輪積中空		坑覆	低段	拠点	県埋20→d1	肩。隆帯上刺突列。縄文	
5115	岩	杉の堂	大遼	～C1古				?			細片	3.6	○	中空		坑覆	低段	拠点	県埋20→d2	部位不明。磨消縄文(方形文)	
5116	岩	杉の堂	大遼	～BC1?	△						小片	2.6		中空			低段	拠点	県埋20→d3	左目。目頭穿孔。眉縄文	
5117	岩	杉の堂	?	前葉?	△						小片	6.4	△	中空			低段	拠点	県埋20→d4	乳房? 裏磨消縄文	
5118	岩	杉の堂	?	不明					?		小片	3.8		中空			低段	拠点	県埋20→d5	「腕」。沈線	
5119	岩	杉の堂	?	不明							小片	1.8		「中空」?			低段	拠点	県埋20→d6	「腕」。無文	
5120	岩	杉の堂	結髪	A1		○	△				小片	4		中空			低段	拠点	県埋20→d7	左胸。乳房隆帯刻目列。背中貼付列	
5121	岩	杉の堂	大遼系統	A1		△	△				小片	4.6	○	中空			低段	拠点	県埋20→d8	肩。多重沈線	
5122	岩	杉の堂	?	不明	?						小片	4.2					低段	拠点	県埋20→d9	「結髪の変例?」	
5123	岩	杉の堂	結髪	A1?		◎	◎	○			1/4	8.2		★体内管孔	線		低段	拠点	県埋20→d10	台式? 正中沈線。乳房隆帯。表裏沈線文	
5124	岩	杉の堂	小遼	～C1古		△					小片	5					低段	拠点	県埋20→d11	腹。脇腹渦巻文	
5125	岩	杉の堂	結髪?	A1?				△			小片	3.5	○	中空			低段	拠点	県埋20→d12	腰。縄文地多重線	
5126	岩	杉の堂	大遼	BC2?		△	△				小片	6	○	中空			低段	拠点	県埋20→d13	★磨消縄文脇腹ミガキで無? 腹裁痕列	
5127	岩	杉の堂	?	不明						不明	細片	3.8		中空			低段	拠点	県埋20→d14	「右腰」。注口部??	
5128	岩	杉の堂	?	不明						不明	細片	2.9		中空			低段	拠点	県埋20→d15	「脚」。刺突多。晩期後葉～末土偶?	
5129	岩	杉の堂	刺突文	末?		?					細片	2.8		中空			低段	拠点	県埋20→d16	胸? 細かい刺突→太い沈線	
5130	岩	杉の堂	結髪	A1	△			△			小片	2.5		中空			低段	拠点	県埋20→d17	左肩。正面隆帯。背中竹管状刺突列	
5131	岩	杉の堂	結髪??	A1??		△					小片	4.8					低段	拠点	県埋20→d19	右肩? 背中平行線	
5132	岩	杉の堂	?	不明						不明	細片	3.2	?	中空			低段	拠点	県埋20→d20	沈線。結髪土偶胴部??	
5133	岩	杉の堂	大遼系統?	A1?					△		1/9	3.9		中空			低段	拠点	県埋20→d21	腰?工字文? 足裏内形? 結髪土偶?	
5134	岩	杉の堂	結髪	～末				△			細片	0.8		中空			低段	拠点	県埋20→d22	股。刺突多	
5135	岩	杉の堂	大遼	C1古?					△		小片	1.7		中空			低段	拠点	県埋20→d23	足の境裁痕列	
5136	岩	杉の堂	小遼?	～C1古?					△		小片	2.8		中空			低段	拠点	県埋20→d24	蔓状文	
5137	岩	杉の堂	小遼?	不明					?	?	細片	2.2		中空			低段	拠点	県埋20→d25	「腕」。沈線	
5138	宮	北小松	?	A1??	?	△					小片	4.5			線		沖積	掘?	県教21→36-20	正中刺痕列? 乳上部ボタン貼付。縄文	
5139	宮	北小松	大遼系統	A1	△	△					小片	5		★中実		柱埋	沖積	掘?	県教21→75-7	多重沈線。肩刺痕列	
5140	宮	北小松	後期以来	後期?	○	△															

No.	県	遺跡名	形 態	時 期	部 位					残存率	現長 cm	接 合	付着物 赤 黒	つくり (製作痕)	女 性	出土 位置	遺 跡		掲載箇所	備 考
					頭	胸	腹	腰	腕								立地	評価		
5154	宮	北小松	結髪変?	A2 ?	△					小片	3						沖積	掘?	県教 21 → 171-24	抽象的。後頭 π 字文。眉目刻目隆帯
5155	宮	北小松	結髪?	A1 ~ ?	△					細片	2.2						沖積	掘?	県教 21 → 171-25	口破片。口刻目隆帯
5156	宮	北小松	大遼系統	A1 ?	△					小片	4						沖積	掘?	県教 21 → 172-1	頭頂突起。頂二又。刻目隆帯
5157	宮	北小松	?	A1 ~ ?	△	△				不明	7.2			厚い板状			沖積	掘?	県教 21 → 172-2	x 字形の大型版? 縄文地太深沈線
5158	宮	北小松	結髪変形	A1 ~ ?		○	○	◎		不明	5	○			線		沖積	掘?	県教 21 → 172-3	正中沈線。首飾り、背中刺痕列
5159	宮	北小松	大遼系統	A1 ?				△		小片	2.4	○		中空			沖積	掘?	県教 21 → 172-4	「肩」。腰上円形文。工字文?
5160	宮	北小松	?	不明					△	小片	1.6						沖積	掘?	県教 21 → 174-42	
5161	宮	北小松	大遼系統?	A1 ?	○					小片	2.4						沖積	掘?	県教 21 → 175-1	抽象的。刻目列多用
5162	宮	北小松	大遼系統?	A1 ?					○	小片	3.2						沖積	掘?	県教 21 → 175-10	腕多重線。手円形突起
5163	宮	北小松	類結髪?	A1 ~ ?				○	◎	不明	3	○					沖積	掘?	県教 21 → 175-11	下半身平行線間刺突列。短足
5164	宮	北小松	?	?				○	○	不明	3.1						沖積	掘?	県教 21 → 175-12	胴沈線多。脚刺突多
5165	宮	北小松	「土偶か」	不明					不明	小片	2.5			輪積中空			沖積	掘?	県教 21 → 175-14	隆帯上刻目列、大遼系統に似る
5166	宮	北小松	?	不明					?	不明	4.5	○					沖積	掘?	県教 21 → 176-8	「脚」。前傾方向足突出?、反対側平行線
5167	宮	北小松	類結髪?	A1 ~ ?		△	△			不明	9.9	○		厚「中空」?			沖積	掘?	県教 21 → 243-1	下と同一個体。背中竹管状刺突列
5168	宮	北小松	?	?		△	○	○		不明	11.4			厚「中空」?	バ		沖積	掘?	県教 21 → 243-2	上と同一個体。パンツ縄文。背面文様多
5169	宮	北小松	大遼系統	C2 V ?				△		小片	2.2			中空			沖積	掘?	県教 21 → 244-2	「肩」腰? 磨消縄文
5170	宮	北小松	後期以来?	後期?			△			小片	3.8			中空	線		沖積	掘?	県教 21 → 244-3	正中刻目隆帯。腹?貫通孔
5171	宮	北小松	後期以来?	後期?			△	△		小片	4.4			中空			沖積	掘?	県教 21 → 244-4	腰刻目隆帯。背中に入組文?
5172	宮	北小松	土偶?	不明					?	不明	4						沖積	掘?	県教 21 → 244-5	「左腿」。途中貼付剥落

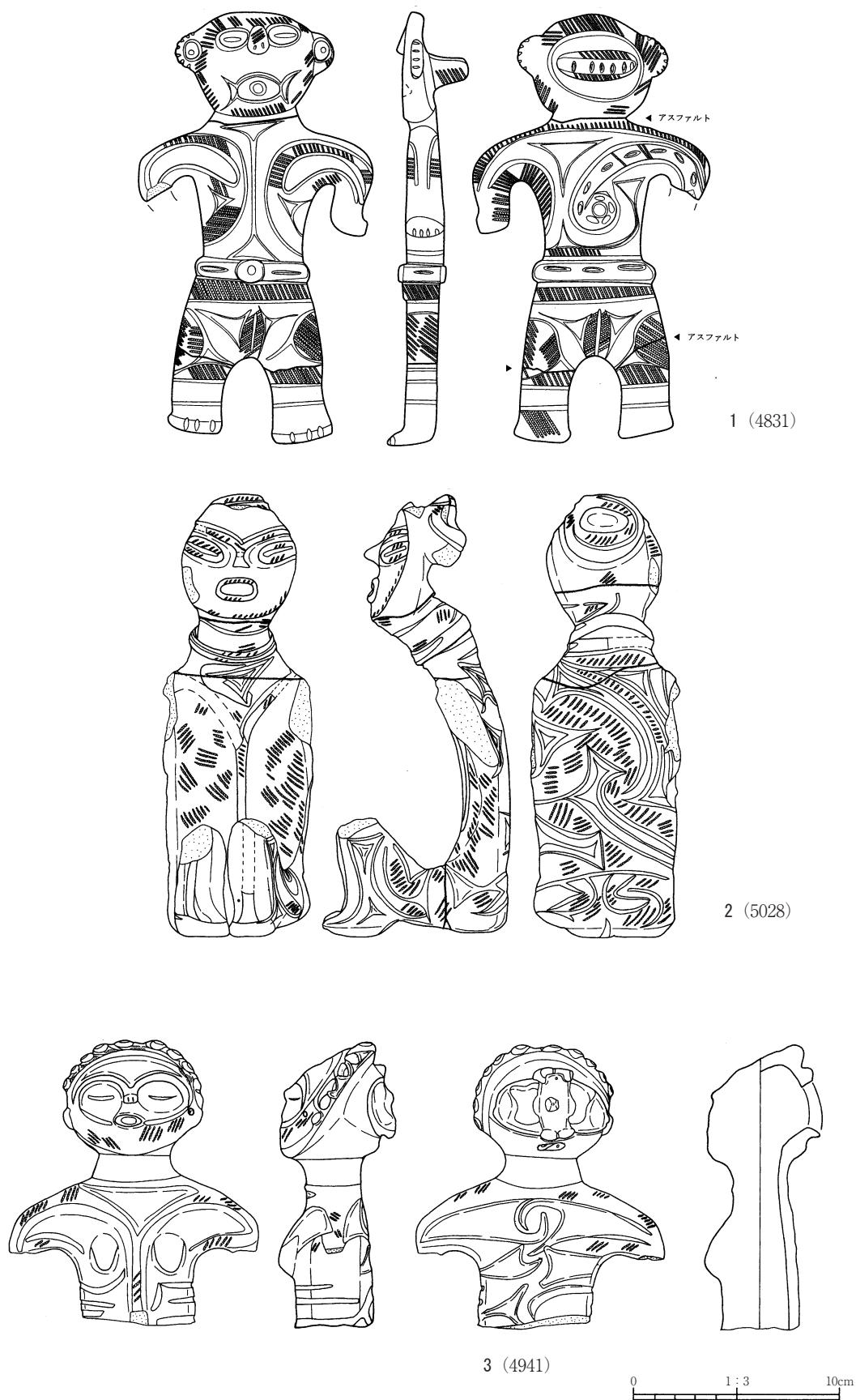
- 金子昭彦 2010d「縄文晩期・東北北部の土製耳飾(続)」『縄文時代』第21号 縄文時代文化研究会
- 金子昭彦 2011a「東北地方・縄文晩期の土偶(2)」『紀要』X X X (公財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
- 金子昭彦 2011b「北日本・縄文晩期の三角玉ほかの装飾品」『岩手考古学』第 22 号 岩手考古学会
- 金子昭彦 2011c「北日本・縄文晩期の花卉丸玉、平玉」『縄文時代』第 22 号 縄文時代文化研究会
- 金子昭彦 2012「東北地方・縄文晩期の土偶(3)」『紀要』X X X I (公財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
- 金子昭彦 2014「東北地方・縄文晩期の土偶(4)」『紀要』第 33 号 (公財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
- 金子昭彦 2015a「東北地方・縄文晩期の土偶(5)」『紀要』第 34 号 (公財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
- 金子昭彦 2015b「大洞 C 2 式期・大型遮光器系列土偶の編年」『古代』第 137 号 早稲田大学考古学会
- 金子昭彦 2015c「縄文土偶の終わり」『考古学研究』第 62 巻第 2 号 考古学研究会
- 金子昭彦 2016a「東北地方・縄文晩期の土偶(6)」『紀要』第 35 号 (公財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
- 金子昭彦 2016b「瘤付土器に伴う土偶の系列」『青森県考古学』第 24 号 青森県考古学会
- 金子昭彦 2016c「津軽海峡圏の装身具の変遷」『一般社団法人日本考古学協会 2016 年度弘前大会第 I 分科会 「津軽海峡圏の縄文文化」研究報告資料集』
- 金子昭彦 2017「多出遺跡から土偶の用途を考える」『山本暉久先生古稀記念論集 二十一世紀考古学の現在』六一書房
- 金子昭彦 2018「縄文土偶の二つの使い方」『青森県考古学』第 26 号 青森県考古学会
- 金子昭彦 2020「亀ヶ岡式的な土偶の広がり」『DOGU』第 3 号 土偶研究会 (青森県成田滋彦氏)
- 金子昭彦 2021「亀ヶ岡式土偶に関する諸問題」『DOGU』第 4 号 土偶研究会 (青森県成田滋彦氏)
- 五所川原市教育委員会 2006『五月女菰遺跡』五所川原市埋蔵文化財調査報告書第 27 集
- 2017『五月女菰遺跡』五所川原市埋蔵文化財調査報告書第 34 集
- 2021『五月女菰遺跡・十三湊遺跡』五所川原市埋蔵文化財調査報告書第 35 集
- 小林圭一 2008「瘤付土器」『総覧縄文土器』アム・プロモーション
- 佐藤祐輔 2015「IV. 7 東北」『弥生土器』考古調査ハンドブック 12 ニューサイエンス社
- 「土偶とその情報」研究会 1996『土偶シンポジウム 5 宮城大会 東北・北海道の土偶Ⅱ』
- 中門亮太 2013「東北地方北部における瘤付土器の基礎的研究」『古代』第 131 号 早稲田大学考古学会
- 宮城県教育委員会 1986『田柄貝塚Ⅱ』宮城県文化財調査報告第 111 集
- 2021『北小松遺跡』宮城県文化財調査報告第 254 集



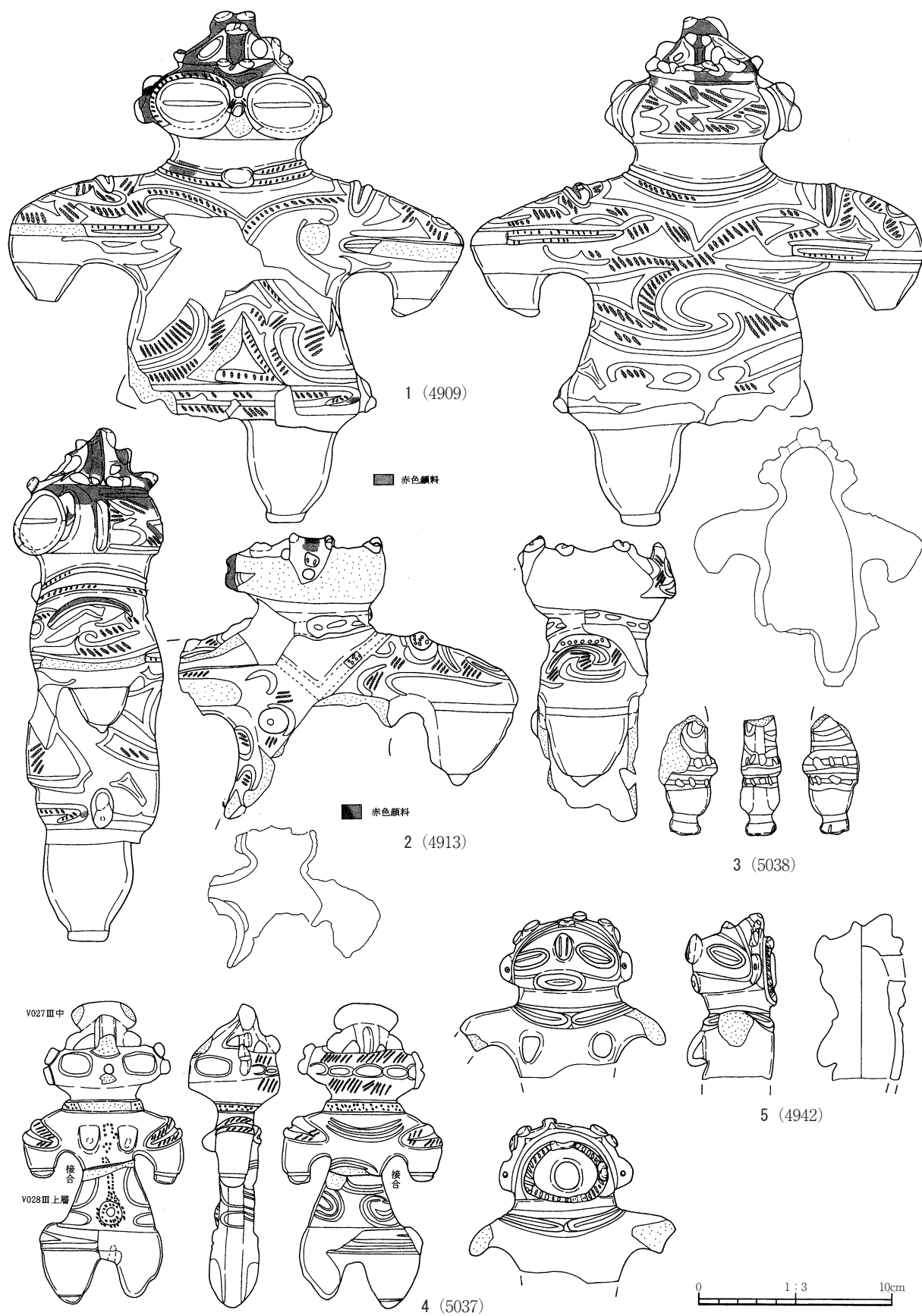
第1図 青森県五月女范遺跡の土偶
(括弧内は表の番号)



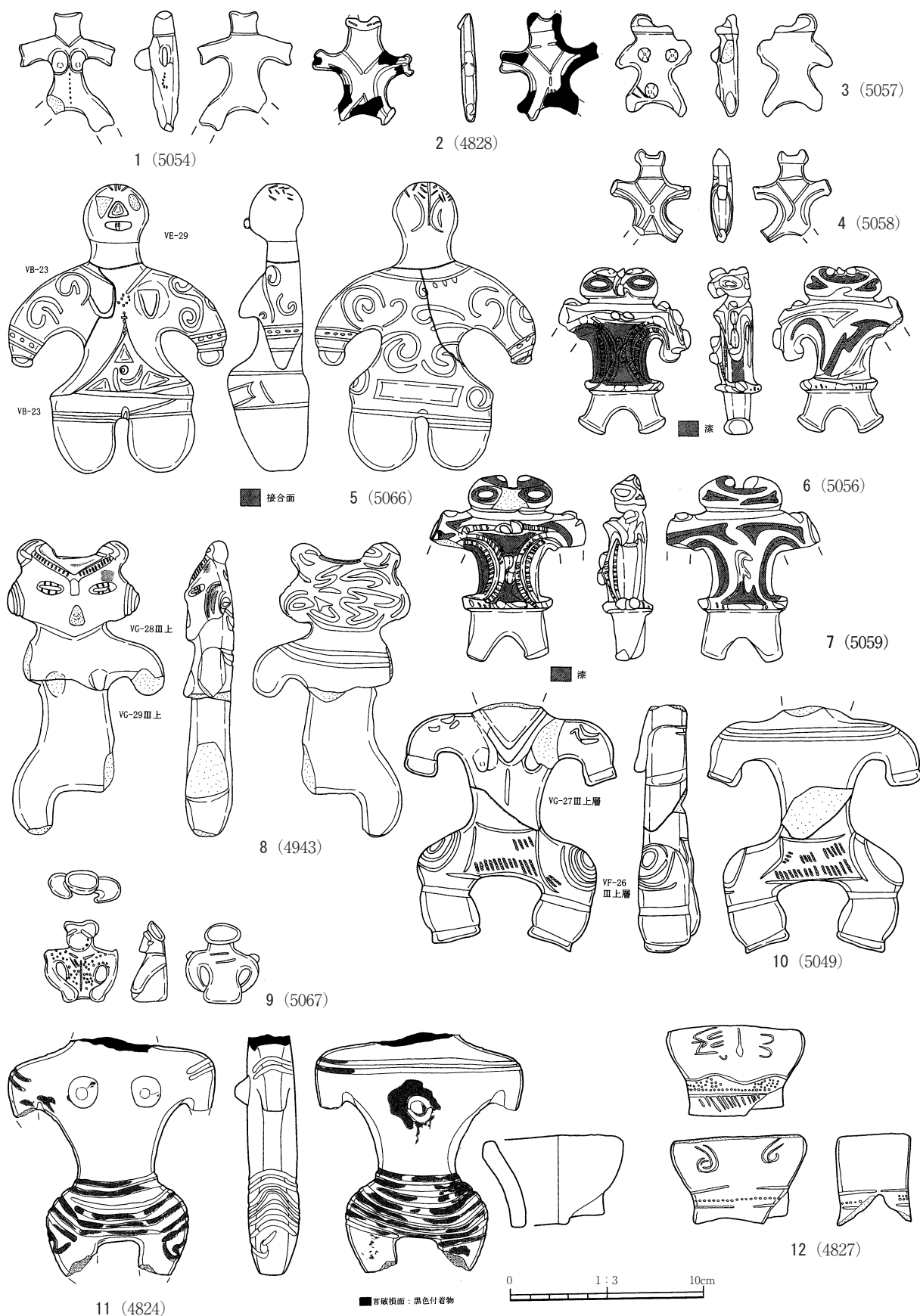
第2図 青森県川原平(1)遺跡の土偶(1)(後期末?)
(括弧内は表の番号)



第3図 青森県川原平 (1) 遺跡の土偶 (2) (後期末～晩期初頭?)
(括弧内は表の番号)



第4図 青森県川原平(1)遺跡の土偶(3)(遮光器系列)
(括弧内は表の番号)



第5図 青森県川原平(1)遺跡の土偶(4)(晩期中～後葉)
(括弧内は表の番号)

